

消 防 年 報

2020



廿日市市消防本部

表紙写真

「重なり岩」（佐伯）

岩倉ファームパーク上流の県道沿いにある、大きさ約2mの花崗岩が2つ重なり合った珍しい岩です。その特徴的な重なり方から「絶対に落ちない」という伝説があり、「縁起がいい岩」として毎年多くの受験生等が合格祈願に訪れます。

は じ め に

この消防年報は、廿日市市の消防現勢及び消防行政に関する諸般の事象を収録し、本市の消防実態を広く紹介するとともに、将来の参考に資するために編集したものです。なお、この年報は主として令和2年4月1日現在により収録したのですが、一部これらによらないものについては、当該表にそれぞれ記載する年月日によるものです。

また、吉和地域の常備消防業務は山県西部消防組合の解散により、平成19年4月1日から、広島市に委託しています。

令和2年9月

廿日市市消防本部

目 次

総 務

消防の沿革	1
廿日市市の位置及び管轄区域	11
消防本部・消防署の組織図	12
消防施設の配置図	13
歴代消防長	15
歴代消防署長	16
消防本部の事務分掌	18
消防庁舎（車庫）の現況	21
消防署車両・ポンプ配置状況	23
一般会計及び消防費の決算・予算の状況	24
消防職員数の推移	25
消防職員の年齢	27
消防職員の勤務年数	27
消防職員の資格・免許・特殊技能取得状況	28
消防職員の公務災害発生状況	29
消防職員の教養・研修状況	29
消防職員の採用者・退職者の推移	30

予 防

防火対象物の査察状況	32
危険物施設査察状況	33
建築同意処理状況	34
中高層建築物（3階以上）の状況	34
幼年少年女性消防クラブ結成状況	35
幼年少年女性消防クラブ活動状況	36
広報活動状況	36
火災発生状況	37
過去10年の地域別火災件数（グラフ）	38

警 防

訓練実施状況	40
水利施設状況	40
火災出動状況	41
その他の出動状況	41
過去3年間の火災出動状況	42
過去3年間のその他の出動状況	42
過去3年間の船舶出動状況	42

救急・救助

救急業務実施状況	44
過去10年間の救急出場件数（グラフ）	45
事故種別・収容地域別搬送人員	46
転送回数別搬送人員	46
事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員	47
年齢区分別・傷病程度別搬送人員	47
曜日別・月別救急出場件数	48
時間別救急出場件数	49
現場到着所要時間別出場件数	50
収容所要時間別搬送人員	50
応急手当普及啓発実施状況	51
過去3年間の救助出動状況	52
救助出動状況	52

通信指令

119電話受信状況	54
気象情報発表状況	55
天候・風向の状況	55
月別気象状況	56
多言語サービス利用実績	57

消防団

消防団の組織図	59
歴代消防団長	60
消防団員の報酬	60
消防団員の諸手当	60
消防団員の定員と所属別団員数	61
消防団員の勤務年数	62
消防団員の年齢	62
火災出動状況	63
その他の出動状況	63
機能別団員制度について	64
消防団車庫の現況	65
消防団車両・ポンプ配置状況	69

総 務



女性消防吏員活躍推進に関する研修会



組 織	1 本部 ・ 4 署 ・ 1 分署
消 防 職 員 定 数	1 7 9 人
消 防 費 予 算	2, 7 0 8, 5 2 3 千円

令和2年4月1日現在

消防の沿革

消 防 の は じ ま り	明治39年5月31日、管内の旧廿日市町や各村に相前後して公設消防組が設置された。
	昭和8年に防護団、昭和14年警防団の組織に改編する。
	第二次大戦の末期、大空襲に備え軍都広島防衛のため、旧町村で購入した消防ポンプ自動車3台を広島市へ供出したが、昭和20年8月6日、原爆により2台を焼失した。
	戦後、消防組織法が制定され、昭和23年3月、自治体消防として新時代への第一歩を踏み出し、警防団は改組されて消防団となった。
	以後、施設の充実整備を図り前記広島市へ供出した代車として、江田島海軍兵学校にあったポンプ車2台を受け、更に昭和26年、昭和28年、昭和31年、昭和33年とポンプ自動車4台を購入して消防力の強化に努める。この間、旧廿日市町並びに地御前村はそれぞれ昭和28年2月、昭和30年2月、日本消防協会の表彰を、また、昭和29年3月、昭和31年3月、国家消防本部の表彰を受け、消防最高の栄誉に輝いた。
	昭和31年9月30日、5カ町村合併による新町発足に伴い、昭和32年2月10日、旧町村単位で設置していた消防団を統合し、廿日市町消防団（5分団編成、定数250人、実員276人）として発足する。
S32. 4. 1	廿日市町消防本部が設置される。昭和33年8月11日、時代の進展と科学の進歩並びに都市形態への移行により、消防制度を抜本的に検討する必要があるとの世論が高まった。このため、消防制度研究委員会を設け本町と規模の類似した他市町村の消防組織を参考に研究が始められ、昭和33年10月29日、第1回の答申、更に昭和34年3月24日、第2回の答申が出された。
S34. 4. 1	前記答申に基づき定数13人（一部、町事務吏員が消防職員を兼任）をもって廿日市町消防署を設置する。
S34. 5. 17	消防団長以下280人の全員が辞職し定数145人（分団廃止）をもって新編成を行う。
S35. 12. 1	廿日市町消防後援会から救急車1台の寄贈を受け、救急業務を開始する。
S36. 4. 26	廿日市559番地の町庁舎に移転する。
S38. 3. 12	消防吏員4人増員し17人となる。
S39. 8. 22	救急車更新（消防後援会半額負担）、消防署に配備する。
S40. 11. 30	畑口消防団車庫県道拡張工事につき改築する。
S41. 1. 5	消防ポンプ自動車（トヨタランドクルーザー）購入、消防団自動車班に配備する。
S41. 3. 31	消防職員兼務7人の兼務を解く。
S42. 3. 30	明石消防団車庫県道拡張工事のため明石公民館広場へ移転新築する。
S42. 8. 11	消防団員任期満了につき改選（141人）する。
S42. 8. 26	消防団配備の小型動力ポンプ老朽化のため5カ年計画により、昭和42年度2台（原4班、宮内3班）購入する。
S42. 10. 23	消防職員定数4人増員、25人となる。
S42. 12. 1	小・中学校及び保育所の夜間巡回を開始する。
S43. 9. 9	小型動力ポンプ2台、原3班、宮内2班に配備する。
S43. 12. 25	消防車庫宮内1班（砂原）県道拡張工事のため移転新築する。
S44. 1. 12	赤バイ1台広島（佐伯）ライオンズクラブから寄贈を受け、消防署に配備する。
S44. 1. 29	指令車購入、消防署に配備する。
S44. 3. 11	消防職員定数2人増員、27人となる。
S44. 5. 10	小型動力ポンプ3台更新、原1班、宮内1班、地御前1班に配備する。
S44. 12. 24	消防超短波無線電話機（基地局1・移動局2・携帯用1）を設置する。

S44. 12. 29	小型動力ポンプ3台更新、平良1班、平良2班、原2班に配備し、全班更新を完了する。
S45. 4. 1	宮内鎗出で林野火災が発生し、2日間に渡り190haを焼失する。
S45. 7. 24	小型動力ポンプ積載車2台購入、原1班、地御前1班に配備する。
S45. 10. 12	消防団の組織強化のため分団制度を復活し、3分団編成とする。
S45. 11. 19	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署に配備する。
S46. 8. 25	消防超短波無線周波数149. 13MCを150. 19MCに変更する。
S46. 9. 1	消防署分隊制度を小隊編成とする。
S46. 9. 18	小型動力ポンプ積載車5台購入、消防団に配備する。
S46. 12. 15	消防職員定数1人増員、28人となる。
S47. 3. 31	後畑消防団車庫を新築する。
S47. 5. 11	日本損害保険協会から救急車1台寄贈を受け、消防署に配備（町1/3負担）する。
S47. 8. 10	小型動力ポンプ積載車5台購入、消防団へ配備し現有12台となり全班配備となる。
S51. 2. 1	1市4町（大竹市、大野町、廿日市町、五日市町、宮島町）相互応援協定を締結する。
S52. 9. 1	消防庁舎建設用地賃貸借契約を締結（敷地面積 2, 333. 16㎡）する。
S52. 9. 20	小・中学校、保育所の夜間巡回を自火報移報装置の設置により中止する。
S52. 12. 1	日本損害保険協会から救急車1台寄贈を受け、消防署に配備（2台体制）する。
S52. 12. 15	無線機によるサイレン吹鳴放送設備を佐方保育所、明石消防団車庫、阿品消防団車庫屋上に、放送設備を役場庁舎、原農協、宮内、地御前各公民館屋上へ設置する。
S53. 7. 27	消防団車両に超短波無線受令機取り付け、出動体制の強化を図る。
S53. 9. 1	消防本部、消防署が廿日市町宮内4865番地の2へ移転し、14時から業務を開始する。
S53. 9. 12	消防庁舎落成式を行う。
S54. 2. 1	広島地方気象台依頼の気象観測業務を終了する。
S54. 3. 31	消防団阿品班車庫を地御前2437番地の1に新築する。
S54. 4. 15	消防団第3分団第1部3班（明石）積載車火災出動途上交通事故発生、団員5人負傷する。
S54. 7. 30	小型動力ポンプ1台更新、第1分団第1部3班（佐方）に配備する。
S54. 10. 22	小型動力ポンプ積載車1台整備、第3分団第1部3班（明石）に配備する。
S54. 12. 19	広島ガス株から指揮車、広報査察車各1台寄贈を受け、消防署に配備する。
S55. 3. 24	消防ポンプ自動車1台整備、消防署に配備する。
S55. 5. 16	小型動力ポンプ1台更新、第3分団第2部2班（阿品）に配備する。
S55. 5. 23	レンジャー訓練塔（鉄骨）を署敷地内に設置する。
S56. 2. 1	新住居表示の施行に伴い消防本部の住所が廿日市町串戸一丁目9番33号となる。
S56. 2. 15	廿日市地区東方面消防出動体制強化を図るため消防団車庫（2階集会所）を新築、第1分団第1部を移転する。
S56. 3. 11	消防本部の組織を強化するため2課6係とし、廿日市町消防本部の組織に関する規則の一部改正を行い、昭和56年4月1日から施行する。
S56. 4. 1	消防職員1人採用（定数38人）
S57. 4. 1	消防職員3人採用（定数42人）
S57. 10. 13	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台寄贈を受け、消防署に配備する。
S58. 4. 1	消防職員5人採用（定数46人）
S58. 11. 1	消防署小隊に1分隊増隊し、4分隊編成とし消防体制を強化する。 消防団員定数155人となる。
S58. 11. 16	消防ポンプ自動車（昭和31年式）を廃車する。
S58. 12. 1	阿品台地区に消防団車庫を新築、小型動力ポンプ付積載車1台、新団員10人により、新班

		(第3分団第2部3班・阿品台)を編成する。
S59.	2. 1	指導車更新、消防署に配備する。
S59.	3. 1	24m級はしご付消防ポンプ自動車を整備、消防署に配備する。
S59.	3. 31	消防署の組織に関する規程の一部を改正し、救助分隊を設ける。
S59.	4. 1	消防職員2人採用(定数48人)
S59.	7. 24	小型動力ポンプ積載車2台更新、第2分団第1部1班(橋本)、第3分団第2部1班(地御前)へ配備する。
S59.	12. 20	化学消防ポンプ自動車整備、消防署へ配備する。
S60.	1. 24	社団法人日本自動車工業会から救急車(2B)1台寄贈を受け、消防署に配備する。
S60.	3. 20	救急医療情報システムを廿日市町消防署に設置し運用開始(五日市町消防本部が広島市合併のため)する。
S60.	7. 29	小型動力ポンプ積載車2台更新、第2分団第1部2班(川末)、第2分団第2部2班(後畑)に配備する。
S60.	7. 31	工作積載車更新、消防署に配備する。
S60.	10. 2	消防団第3分団第1部2班(畑口)車庫に無線サイレン放送設備を設置、同所ホース乾燥塔に拡声器を取り付ける。
S60.	12. 20	消防ポンプ自動車(BD-1)更新、消防署に配備する。
S60.	12. 21	消防署配備の消防ポンプ自動車を消防団第1分団第2部(榎之窪)へ移管する。
S60.	12. 24	廿日市ライオンズクラブから電源照明車(トヨタハイラックス1800cc、ディーゼル発電機2KVA付)の寄贈を受け、消防署へ配備する。
S61.	2. 3	消防団第3分団第1部2班(畑口)車庫及び用地の一部を、県道拡張工事のため広島県へ売却する。
S61.	4. 1	消防職員2人採用(定数50人)
S61.	7. 15	小型動力ポンプ積載車2台更新、第2分団第3部2班(郡塚)、第3分団第1部1班(砂原)に配備し、小型動力ポンプ2台更新、第2分団第2部2班(後畑)、第3分団第1部3班(明石)に配備する。
S61.	8. 1	財団法人日本消防協会から小型動力ポンプ(B-2)付積載車1台寄贈を受け、第1分団第1部3班(佐方)に配備する。
S61.	11. 19	社団法人日本自動車工業会から救急車(2B)1台寄贈を受け、消防署に配備する。
S62.	2. 25	消防署小隊に救急分隊を1分隊増設、2分隊編成とする。
S62.	3. 31	消防団第2分団第2部1班(長野)車庫を新築移転する。
S62.	4. 1	消防職員3人採用(定数52人)
S62.	7. 24	小型動力ポンプ付積載車2台更新、第2分団第2部1班(長野)、第3分団第1部2班(畑口)に配備する。
S62.	8. 31	台風12号襲来により、管内各地で強風による被害が続出する。
S62.	10. 1	広島県内広域消防相互応援協定及び高速道路消防相互応援協定を締結(隣接市町との協定は廃止)する。
S63.	3. 30	救助工作車Ⅱ型及び救助資器材一式を整備、消防署に配備する。
S63.	3. 31	消防団第3分団第2部1班(地御前)車庫を新築移転する。
S63.	4. 1	市制施行(廿日市町から廿日市市へ名称変更)、県下13番目の市となる。 消防団は、財団法人広島県消防協会佐伯支部から独立し、単独で財団法人広島県消防協会廿日市支部を設立する。 消防職員4人採用(定数56人)

		佐伯地区危険物安全協会が、佐伯・廿日市地区危険物安全協会に名称変更し、事務局が大野町消防本部から本市消防本部に移管された。
S63.	5. 25	廿日市市幼年少年婦人防火委員会が設立される。
S63.	7. 25	小型動力ポンプ積載車2台更新、第2分団第3部1班（速谷）、第3分団第2部2班（阿品）に配備、小型動力ポンプ3台更新、第2分団第1部1班（橋本）、第2分団第3部1班（速谷）及び第3分団第1部1班（砂原）に配備する。 消防団第2分団第3部1班（速谷）車庫を新築移転する。
S63.	8. 11	財団法人日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車1台寄贈を受け、積載車を第3分団第1部3班（明石）、小型動力ポンプを第2分団第3部2班（郡塚）に配備する。
S63.	11. 28	指揮車更新、消防署に配備する。
平	成	
H元.	3. 30	消防団第1分団第2部1班（榎之窪）車庫を新築移転する。
H元	4. 1	消防職員9人採用（定数64人）
H元	4. 17	消防団第3分団第1部3班（明石）車庫を新築移転する。
H元	4. 27	広島ガス㈱から救急車、広報車の寄贈を受け、消防署に配備する。
H元	5. 19	佐伯郡佐伯町と廿日市市の間における消防事務の事務委託に関する協定を調印する。
H元	7. 1	消防本部の組織を3課6係、消防署の組織を3課5係とする。
H元	7. 25	小型動力ポンプ2台更新、第2分団第1部2班（川末）、第3分団第2部1班（地御前）に配備する。
H元.	9. 14	優良消防団として広島県知事表彰を受賞する。 消防本部と佐伯町役場間に専用電話回線を設置する。
H元	10. 1	佐伯分署開署式及び竣工式を行う。 佐伯町津田1147番地の10、延面積428.61㎡鉄筋コンクリート2階建庁舎に水槽付消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ付積載車1台、救急自動車2台、指揮車1台を配備し、職員13人体制で8時30分、佐伯町の消防事務委託の受託業務を開始する。
H 2.	3. 7	広島県内航空消防応援協定を締結する。
H 2.	4. 1	消防職員6人採用（定数70人）
H 2.	7. 20	消防団第3分団第1部2班（畑口）車庫を新築移転する。
H 2.	12. 1	西分署（コミュニティ消防センター）開署式及び竣工式を行う。 阿品台四丁目1番21号、延べ面積353.65㎡鉄筋コンクリート2階建庁舎（防火水槽40 t級）に職員10人と新規購入水槽付消防ポンプ自動車、広島県同栄社共済農業共同連合会寄贈救急自動車、広報車を配置し、本市西部地域を管轄区域として業務開始する。
H 3.	3. 29	消防ポンプ自動車更新、第1分団第1部1・2班（大東）に配備する。
H 3.	4. 1	消防職員5人採用（定数75人）
H 3.	5. 8	消防団第2分団第3部2班（郡塚）車庫を新築する。
H 3.	9. 27	台風19号襲来、市内に甚大な被害をもたらす。
H 4.	4. 1	消防職員4人採用（定数79人） 警防課に通信指令係を設け、消防本部の組織を3課7係とする。
H 4.	4. 13	消防団第3分団第1部1班（砂原）車庫を新築する。
H 4.	9. 10	佐伯郡内町村、廿日市市、山県西部消防組合消防本部による消防関係者連絡協議会を発足する。
H 4.	9. 30	消防団員定数181人となる。
H 4.	10. 1	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署に配備する。

H 4. 12. 1	宮園地区に消防団車庫を新築、小型動力ポンプ付積載車 1 台、団員10人により、新班（第3分団第1部4班・宮園）を結成する。
H 4. 12. 28	広報車更新、消防署へ配備する。
H 5. 3. 10	消防通信指令管制システムを消防庁舎3階に整備、職員6人で運用を開始する。
H 5. 4. 1	消防職員6人採用（定数85人）
H 5. 4. 6	消防団第2分団第2部1班（森宗）車庫を新築移転する。
H 5. 7. 23	日本防火協会から防火広報車の寄贈を受け、消防署に配備する。
H 5. 10. 26	広島県内高速道路消防相互応援協定を締結する。
H 6. 4. 1	消防職員8人採用（定数90人）
H 6. 11. 24	救急救命士国家試験にて（1人）資格取得する。
H 7. 1. 17	阪神淡路大震災発生のため応援隊を派遣（1. 17～1. 23 延べ20人）する。
H 7. 4. 1	消防職員5人採用（定数95人）
H 7. 11. 1	消防団組織力強化のため4分団に改編、定数213人となる。
H 7. 12. 1	四季が丘地区に消防団車庫新築、小型動力ポンプ付積載車1台、団員10人により、新班（第3分団第2部2班・四季が丘）を結成する。
H 8. 2. 26	高規格救急自動車（救急自動車の更新）を整備、消防署に配備する。
H 8. 3. 29	小型動力ポンプ付水槽車整備、消防署に配備する。
H 8. 4. 1	消防職員4人採用（定数98人） 高規格救急自動車を消防署に配備し、救急救命士3人をもって、高度救急業務を開始する。
H 8. 7. 11	広島県防災ヘリコプター応援協定を締結する。
H 8. 9. 2	輸送車更新、消防署に配備する。
H 9. 3. 26	消防本部（署）庁舎の耐震補強、外部改修工事を完了する。
H 9. 4. 1	消防職員6人採用（定数100人）
H 9. 5. 23	消防団第2分団第2部2班（後畑）車庫を新築移転する。
H10. 2. 23	消防団第1分団第1部3班（佐方）車庫を新築移転する。
H10. 3. 10	水槽付消防ポンプ自動車更新、消防署に配備する。
H10. 4. 1	消防職員3人採用（定数103人）
H10. 9. 4	小型動力ポンプ付積載車更新、第4分団第1部3班（阿品台）に配備する。
H10. 9. 20	指揮車更新、消防署に配備する。
H10. 9. 30	消防通信指令管制システムの老朽化した一部機器を更新（9, 10年度）する。
H10. 11. 9	携帯電話による119番通報受付業務を開始する。
H11. 4. 1	消防職員3人採用（定数105人）
H11. 6. 29	大雨による土砂災害発生、人、家屋等に甚大な被害をもたらす。
H11. 8. 1	佐伯町、高規格救急自動車（救急自動車の更新）を整備、佐伯分署に配備する。
H11. 9. 24	6月29日大雨災害復旧の最中、台風18号襲来、さらに甚大な被害をもたらす。
H11. 12. 3	多目的災害支援車（連絡車の更新）を整備、消防署に配備する。
H12. 3. 17	広島ガス（株）から化学車（更新）車体分として840万円の寄贈を受ける。
H12. 4. 1	消防職員1人採用（定数106人）
H12. 4. 7	小型動力付ポンプ積載車更新、第4分団第1部1班（地御前）、第2分団第1部1班（森宗）に配備する。
H12. 4. 27	職員招集のポケットベル導入、職員全員に配付し運用を開始する。
H12. 5. 31	広島県緊急情報防災情報システムの運用を開始する。

H12. 6. 29	広報車（指導車の更新）を整備、西分署に配備する。
H12. 9. 11	後畑消防団車庫に無線サイレン放送設備を設置（市内16ヶ所ほぼ市域をカバー）する。
H12. 10. 31	化学消防ポンプ自動車更新、消防署に配備する。
H12. 11. 9	廿日市ライオンズクラブから広報車（広報4）の寄贈を受け、消防署に配備する。
H12. 12. 22	小型動力ポンプ付積載車更新、第2分団第1部2班（川末）、第2分団第2部2班（後畑）に配備する。
H13. 3. 24	15時28分、平成13年芸予地震（M6. 7）発生、道路、家屋等に甚大な被害をもたらす。
H13. 3. 31	職員招集のポケットベルの運用を廃止する。
H13. 4. 1	消防職員5人採用（定数107人）
H13. 7. 1	職員・団員非常招集要領を改正し、電子メールによる運用を開始する。
H13. 9. 13	高規格救急自動車（救急自動車の更新）を整備、西分署に配置し運用を開始する。
H14. 4. 1	消防職員4人採用（定数108人）
H14. 9. 10	女性職員採用に伴い、消防本部2階の会議室を女子更衣室に改築する。
H15. 2. 22	消防団第4分団第1部2班（阿品）車庫を新築する。
H15. 2. 28	消防本部と吉和支所間に専用電話回線を設置する。
H15. 3. 1	廿日市市・佐伯町・吉和村の3市町村が合併し、新生「廿日市市」となる。 合併に伴い消防団組織を改編し、11分団編成、定数433人となる。 佐伯地域の防災行政無線遠隔装置（固定系）を通信指令室に設置、運用を開始する。 吉和地域は引き続き山県西部消防組合に加入する。
H15. 4. 1	消防職員2人採用（定数109人） 消防本部の組織に関する規則の一部を改正し3課8係とする。
H15. 5. 15	広島西圏域メディカルコントロール協議会を設置する。
H15. 10. 20	高規格救急自動車（救急自動車の更新）を整備、消防署に配置し運用を開始する。
H15. 12. 1	佐伯地域の防災行政無線遠隔装置（移動系）を通信指令室及び佐伯分署に設置し、防災行政無線を佐伯分署各車両に配備、運用を開始する。
H15. 12. 12	消防ポンプ自動車更新、第1分団第2部1・2班（榎之窪）に配備する。
H15. 12. 25	小型動力ポンプ付積載車更新、第1分団第1部3班（佐方）、第3分団第1部1班（砂原）に配備する。
H16. 2. 27	小型動力ポンプ付積載車（更新）を整備し、佐伯分署に配備する。
H16. 3. 26	小型動力ポンプ付積載車更新、第11分団第1部2班（細井原）に配備する。
H16. 4. 1	消防職員2人採用（定数110人） 消防本部の組織を4課8係とする。
H16. 9. 7	台風18号襲来、死者4人を出すなど管内に甚大な被害をもたらす。
H16. 11. 1	高規格救急自動車（救急自動車の更新）を整備、佐伯分署に配置し運用を開始する。
H17. 3. 10	小型動力ポンプ付積載車更新、第10分団第2部2班（中津谷）に配備する。
H17. 3. 24	小型動力ポンプ付積載車更新、第2分団第3部2班（郡塚）に配備する。
H17. 4. 1	消防本部の組織を4課10係、消防署の組織を2課4係、2分署とする。 大野町及び宮島町との市町合併（H17. 11. 3）に向け、人事交流（各消防本部へ3人ずつ派遣、6人を受入れる）を実施する。
H17. 5. 26	携帯119番の直接受信の運用を開始する。
H17. 9. 6	台風14号来襲、各地域の道路、家屋等に甚大な被害をもたらす。
H17. 11. 3	廿日市市・大野町・宮島町の3市町が合併し、新生「廿日市市」となる。 大野町及び宮島町の職員67人を採用し、定数179人となり、本部組織を4課1室12係に、消

	防署組織を廿日市・大野・宮島の3署体制とし、それぞれの署に2課6係を置き、廿日市消防署に西及び佐伯の2分署を置き、西分署に5係、佐伯分署に6係を置く。 消防団組織は改編し、24分団編成、定数732人となる。 無線を統合し、運用を開始する。
H18. 3. 1	救助工作車Ⅱ型（救助工作車の更新）を整備、廿日市消防署に配備し運用を開始する。
H18. 3. 2	小型動力ポンプ付積載車更新、第11分団1部1班（花原）に配備する。
H18. 3. 6	小型動力ポンプ付積載車更新、第3分団第1部2班（畑口）に配備する。
H18. 3. 24	消防団第10分団第2部1班（頓原）と2班（中津谷）の車庫を統合し、中津谷に車庫を新築する。
H18. 3. 31	救助工作車を広島県消防学校へ無償譲渡する。
H18. 4. 1	消防職員3人採用（定数179人） コミュニティ消防センター2階部分を増築し、廿日市消防署西分署の事務室として使用を開始する。 高規格救急自動車を整備、廿日市消防署西分署に配備し運用を開始する。 大野地域、宮島地域の119回線を通信指令室へ統合し運用を開始する。 大野消防署、宮島消防署の防災行政無線遠隔制御装置（固定系）を通信指令室へ移設し、運用を開始する。
H18. 10. 10	新消防庁舎建設のため隣接地を購入し、敷地3,326.03㎡となる。
H19. 2. 28	小型動力ポンプ付積載車更新、第2分団第2部1班（長野）、第3分団第1部3班（明石）に配備する。
H19. 3. 4	小型動力ポンプ付積載車更新、第9分団第1部（栗栖）に配備する。
H19. 4. 1	山県西部消防組合が解散（H19. 3. 31）し、吉和地域は広島市に委託する。 消防職員4人採用、内1人山県西部消防組合職員採用（定数179人）
H19. 4. 19	消防・救急艇（みかさ）を更新し、日本初フェリー型消防艇（もみじ）を宮島消防署に配備する。
H19. 8. 2	南町消防職員住宅を廃止する。
H19. 8. 6	第13分団第1部3班（中山）道路拡張のため、同敷地内に移築完了し、運用を開始する。
H19. 9. 10	廿日市地域のデジタル防災行政無線遠隔制御装置（同報系）を整備し、運用を開始する。これに伴い、廿日市地域16箇所の無線サイレン放送設備を撤去する。
H19. 11. 22	大野地域、宮島地域2会場において、広島県、陸上自衛隊、広島県警察、近隣消防本部（局）、消防団、民間企業、自主防災組織等41機関延べ630人参加で広島県総合林野火災防御訓練を実施する。
H19. 11. 30	小型動力ポンプ付積載車更新、第2分団第3部1班（速谷）、第4分団第1部2班（阿品）に配備する。
H20. 3. 14	水槽付消防ポンプ自動車更新、廿日市消防署佐伯分署に配備する。 消防ポンプ自動車更新、第10分団第1部（市垣内）に配備する。
H20. 3. 19	はしご付消防自動車更新（35m級先端屈折型）、廿日市消防署に配備する。
H20. 3. 27	第11分団第2部1班（石原）と2班（熊崎）の車庫を統合し、石原に車庫を新築する。
H20. 4. 1	消防職員7人採用（定数179人） 消防本部に4課8係を置き、各消防署に1課2係を置き、各分署に2係を置く。
H20. 10. 31	新消防庁舎一部の完成により引渡し（事務所棟）を受ける。
H20. 11. 27	小型動力ポンプ付積載車更新、第11分団第2部1班（石原）と2班（熊崎）に配備する。
H21. 2. 16	訓練棟の引き渡しを受ける。

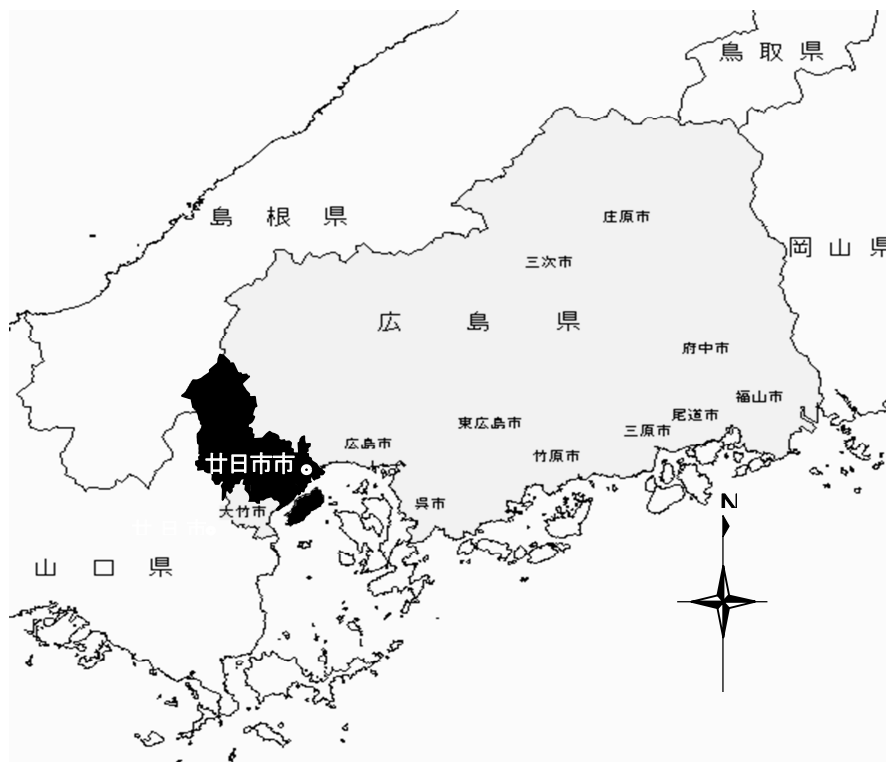
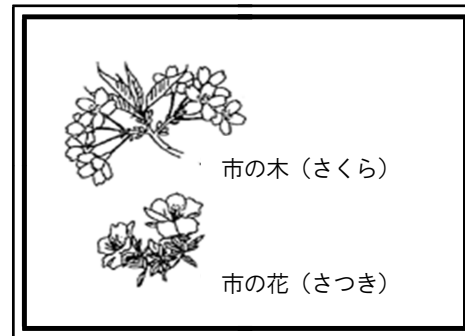
H21. 2. 17	新消防庁舎（事務所棟）の業務を開始し、旧庁舎の119番通報等を消防通信指令管制システムから高機能消防指令センターに切り替え一部稼働する。
H21. 2. 17	広島県総合行政通信網（衛星系）を整備し、運用開始する。
H21. 3. 24	高機能消防指令センターの運用を開始する。
H21. 4. 1	消防職員3人採用（定数179人）
H21. 6. 1	電子メール119の運用を開始する。
H21. 10. 27	除染テント1基、廿日市消防署に配備する。
H21. 11. 27	化学防護服4着、廿日市消防署に配備する。
H21. 11. 30	小型動力ポンプ付積載車更新、第7分団第2部（津田2）と、第10分団第2部1班（頓原）に配備する。
H21. 12. 11	消防団防火服202着、各地域分団へ配備する。
H22. 1. 20	第11分団第1部1班（花原）と2班（細井原）の車庫を統合し、吉和支所敷地内に車庫を新築する。
H22. 3. 2	高規格救急自動車3台更新、廿日市消防署、廿日市消防署佐伯分署、大野消防署に配備する。
H22. 3. 10	新消防庁舎（車庫棟）の業務を開始する。
H22. 4. 1	消防職員3人採用（定数179人）
H23. 1. 19	小型動力ポンプ付積載車更新、第3分団第2部1班（宮園）に配備する。
H23. 1. 24	水槽付消防ポンプ自動車更新、廿日市消防署西分署に配備する。
H23. 3. 1	大竹市栗谷町広原地区救急業務応援に関する覚書を締結する。
H23. 3. 11	緊急消防援助隊用資機材（エアテント）等を廿日市消防署に配備する。
H23. 3. 12	東日本大震災発生のため宮城県名取市に緊急消防援助隊を派遣（3. 12～3. 31 延べ46人）する。
H23. 4. 1	消防職員6人採用（定数179人） 消防本部に3課7係を置き、各消防署に1課2係を置き、各分署に2係を置く。
H23. 8. 25	弥山展望台建替えに伴い無線設備を撤去し、消防本部へ移設・運用を開始する。
H23. 9. 27	新発信地表示システムを位置情報通知システムに統合し、運用を開始する。
H23. 12. 2	広報車1台を更新、廿日市消防署に配備する。
H24. 2. 22	高規格救急自動車1台更新、廿日市消防署西分署に配備する。
H24. 3. 26	宮島消防署の耐震補強工事を完了する。
H24. 3. 29	指揮支援車（広報車1の更新）を整備し、廿日市消防署に配備する。
H24. 3. 31	小型動力ポンプ付積載車更新、第8分団（浅原）に配備する。
H24. 4. 1	消防職員4人採用（定数179人） 消防本部に3課10係を置き、各消防署に1課2係を置き、各分署に2係を置く。 広島市消防局との相互派遣（各1人）を実施する。
H24. 7. 2	小型水槽付消防ポンプ自動車（CAFS 搭載）1台更新、大野消防署に配備する。
H25. 3. 12	高規格救急自動車1台更新、廿日市消防署に配備する。
H25. 3. 14	緊急消防援助隊用の車両として、資機材搬送車（廿日市資材1）が総務省消防庁から無償貸与され、廿日市消防署に配備する。
H25. 3. 29	小型動力ポンプ付積載車更新、第13分団（中山）、第17分団（物見）に配備する。
H25. 4. 1	消防職員9人採用（定数179人）
H25. 6. 25	宮内畑口地区において土砂災害発生、死者1人。
H25. 11. 7	優良消防団として広島県知事表彰を受賞する。

H25. 12. 17	救助工作車Ⅱ型 1 台更新、大野消防署に配備する。
H26. 1. 9	大野消防署リニューアル工事完了する。仮眠室の個室化を図る。
H26. 1. 14	救助工作車を広島県消防学校へ無償譲渡する。
H26. 1. 28	財団法人日本消防協会から消防団多機能車両が寄贈され、第 1 分団第 1 部（大東）に配備する。
H26. 2. 10	高規格救急自動車 1 台更新、廿日市消防署佐伯分署に配備する。
H26. 2. 12	高規格救急自動車 1 台更新、大野消防署に配備する。
H26. 2. 27	小型水槽付消防ポンプ自動車（CAFS 搭載）1 台更新、廿日市消防署に配備する。
H26. 3. 24	小型動力ポンプ付積載車更新、第 3 分団第 2 部 2 班（四季が丘）、第 12 分団（宮島口）、第 14 分団（別府）、第 20 分団（丸石）に配備する。
H26. 4. 1	消防職員 5 人採用（定数 179 人）
H26. 7. 1	消防団本部に女性消防隊を発足する。
H26. 8. 20	広島市土砂災害（安佐南区八木地区）へ広島県内広域消防相互応援として派遣（延べ 142 人、車両 23 台（8. 20～8. 29））する。
H26. 11. 18	小型動力ポンプ（D-1 級）更新、第 14 分団 1 部 1 班（早時）、第 18 分団 1 部 1 班（梅原）に配備する。
H27. 1. 23	総務省消防庁から救助資機材搭載型消防ポンプ自動車が無償貸付され、第 22 分団（東）に配備する。
H27. 3. 18	指揮車（査察広報車 1 台の更新）を整備し、廿日市消防署西分署に配備する。
H27. 3. 19	消防ポンプ自動車（救助資機材積載型）1 台更新、宮島消防署に配備する。
H27. 3. 20	輸送車を整備し、廿日市消防署佐伯分署に配備する。
H27. 3. 23	高規格救急自動車 1 台更新、宮島消防署に配備する。
H27. 3. 29	小型動力ポンプ付積載車更新、第 4 分団第 1 部 3 班（阿品台）、第 5 分団（友和）、第 9 分団第 2 部（所山）に配備する。
H27. 4. 1	消防職員 10 人採用（定数 179 人）
H27. 9. 1	査察広報車 1 台を更新、廿日市消防署に配備する。
H27. 10. 1	消防団サポート事業の運用を開始する。
H27. 11. 18	公益財団法人日本消防協会から消防団防災学習・災害活動車両が寄贈され、消防団本部に配備する。
H28. 4. 1	消防職員 3 人採用（定数 179 人）
H28. 4. 1	コミュニティ消防センターを、消防本部から自治振興部地域政策課へ所管換えする。
H28. 6. 1	広島都市圏消防救急デジタル無線共同利用の運用を開始する。
H28. 10. 1	機能別団員制度の運用を開始する。
H29. 1. 1	学生消防団活動認証制度の運用を開始する。
H29. 2. 18	小型動力ポンプ付積載車を消防ポンプ自動車に更新、第 13 分団第 1 部 1 班（深江）に配備する。
H29. 3. 8	災害の防除と消防力強化につとめた成績に対して、消防庁長官から竿頭綬を授与される。
H29. 3. 30	化学消防ポンプ自動車 1 台更新、廿日市消防署に配備する。
H29. 4. 1	消防職員 13 人採用（定数 179 人）
H29. 7. 6	九州北部豪雨発生のため、福岡県朝倉市へ緊急消防援助隊を派遣する。 （7. 6～7. 20 延べ 31 人）
H29. 10. 25	当市消防団の団員数が相当数増加した功績に対して、総務大臣から感謝状を授与され

	る。
H29. 12. 22	小型動力ポンプ付積載車を消防ポンプ自動車に更新、第7分団第1部（津田）に配備する。
H30. 2. 1	救急救助艇（ビーグル号）1艇更新、宮島消防署に配備する。
H30. 3. 9	高規格救急車1台更新、廿日市消防署西分署に配備する。
H30. 3. 9	小型動力ポンプ付積載車更新、第24分団第1部（杉之浦）に配備する。
H30. 4. 1	消防職員4人採用（定数179人） 大竹市消防本部と「救急業務相互応援に関する覚書」を締結する。 広報キャラクター「ソナエント」が誕生。運用を開始する。
H30. 6. 29	小型動力ポンプ（B-2級）更新、第1分団第1部3班（佐方）に配備する。
H30. 7. 5	平成30年7月豪雨発生、管内の家屋及び道路に被害をもたらす。 さらに甚大な被害を受けた広島市東区、安芸郡坂町及び海田町へ、広島県内広域消防相互応援協定に基づき消防職員・消防団員を派遣する。 （消防職員 7. 7～7. 31 延べ150人 消防団員 7. 21～9. 23の内13日 延べ74人） 呉市の医療機関に対する給水支援として大型水槽車を派遣する。 （7. 10～7. 14の内4日 延べ8人）
H30. 12. 20	当市消防団の平成30年7月豪雨における活動に対して、総務大臣から感謝状を授与される。
H31. 2. 10	当市消防団の平成30年7月豪雨における活動に対して、総務省消防庁長官から防災功労者表彰を授与される。
H31. 3. 11	輸送車1台更新、大野消防署に配備する。 高規格救急自動車1台更新、廿日市消防署に配備する。
H31. 3. 15	小型動力ポンプ付水槽車1台更新、廿日市消防署に配備する。
H31. 3. 20	小型動力ポンプ付積載車更新、第19分団（塩屋）及び第22分団第3部（東）に配備する。
H31. 3. 22	総務省消防庁から救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車が無償貸付され、第23分団第1部（西）に配備する。
H31. 4. 1	消防職員2人採用（定数179人） 廿日市消防署佐伯分署を「廿日市市佐伯消防署」として運用を開始する。 大竹市消防本部との相互派遣（各1名）を実施する。
R元. 9. 1	当市消防団の平成30年7月豪雨における活動に対して、内閣総理大臣から防災功労者表彰を授与される。
R 2. 2. 6	小型動力ポンプ付積載車更新、第5分団（玖島）及び第22分団（東2）に配備する。
R 2. 2. 19	小型動力ポンプ付積載車更新、第2分団（後畑）に配備する。
R 2. 3. 18	高規格救急自動車1台更新、宮島消防署に配備する。
R 2. 3. 23	輸送車1台更新、廿日市消防署に配備する。
R 2. 3. 30	小型水槽付消防ポンプ自動車1台更新、宮島消防署に配備する。
R 2. 4. 1	消防職員4人採用（定数179人）

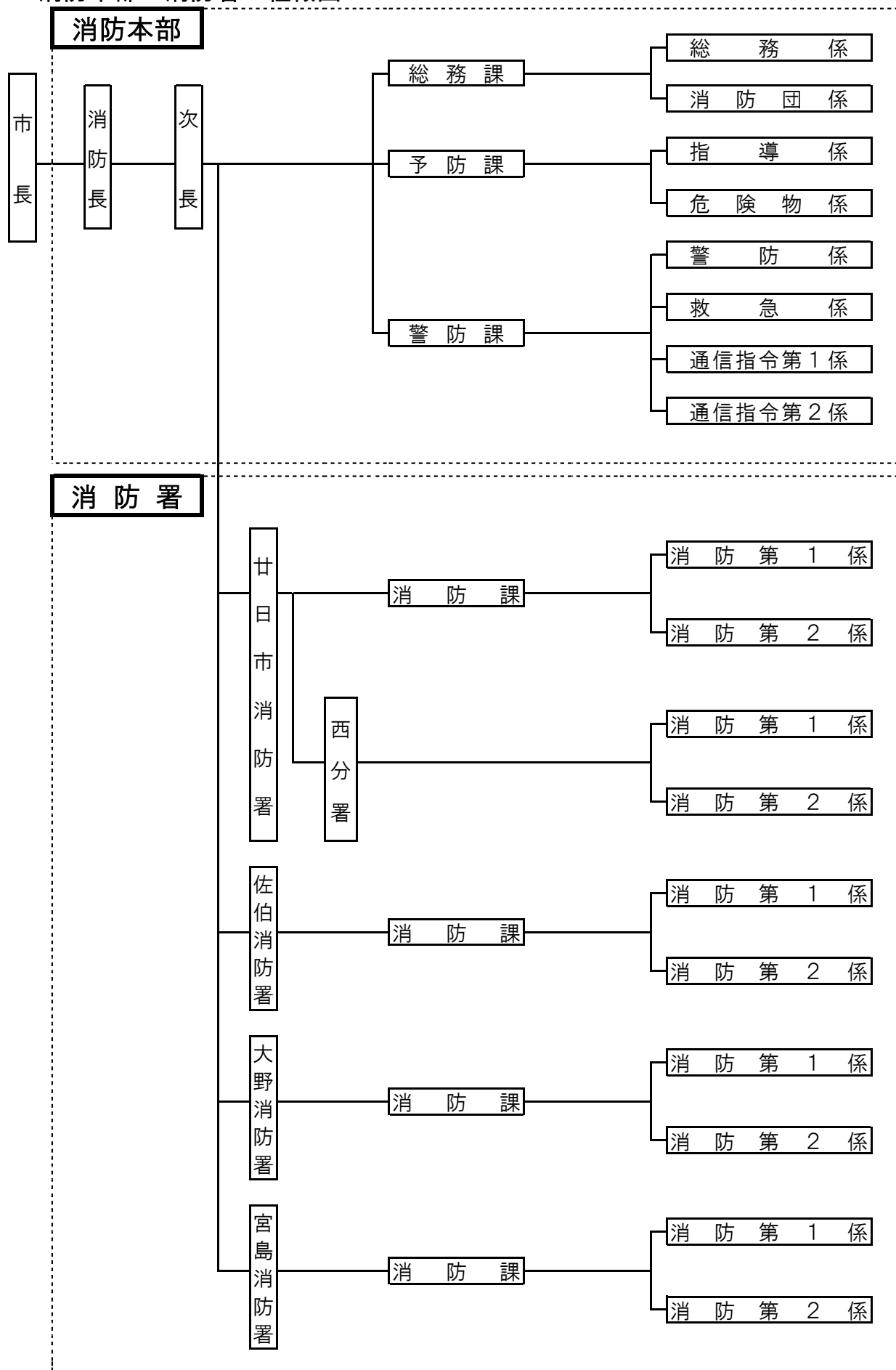
■ 廿日市市の位置及び管轄区域

面 積	489.49km ²
人 口	117,035人
世 帯 数	52,472世帯
人口密度	239人/km ²

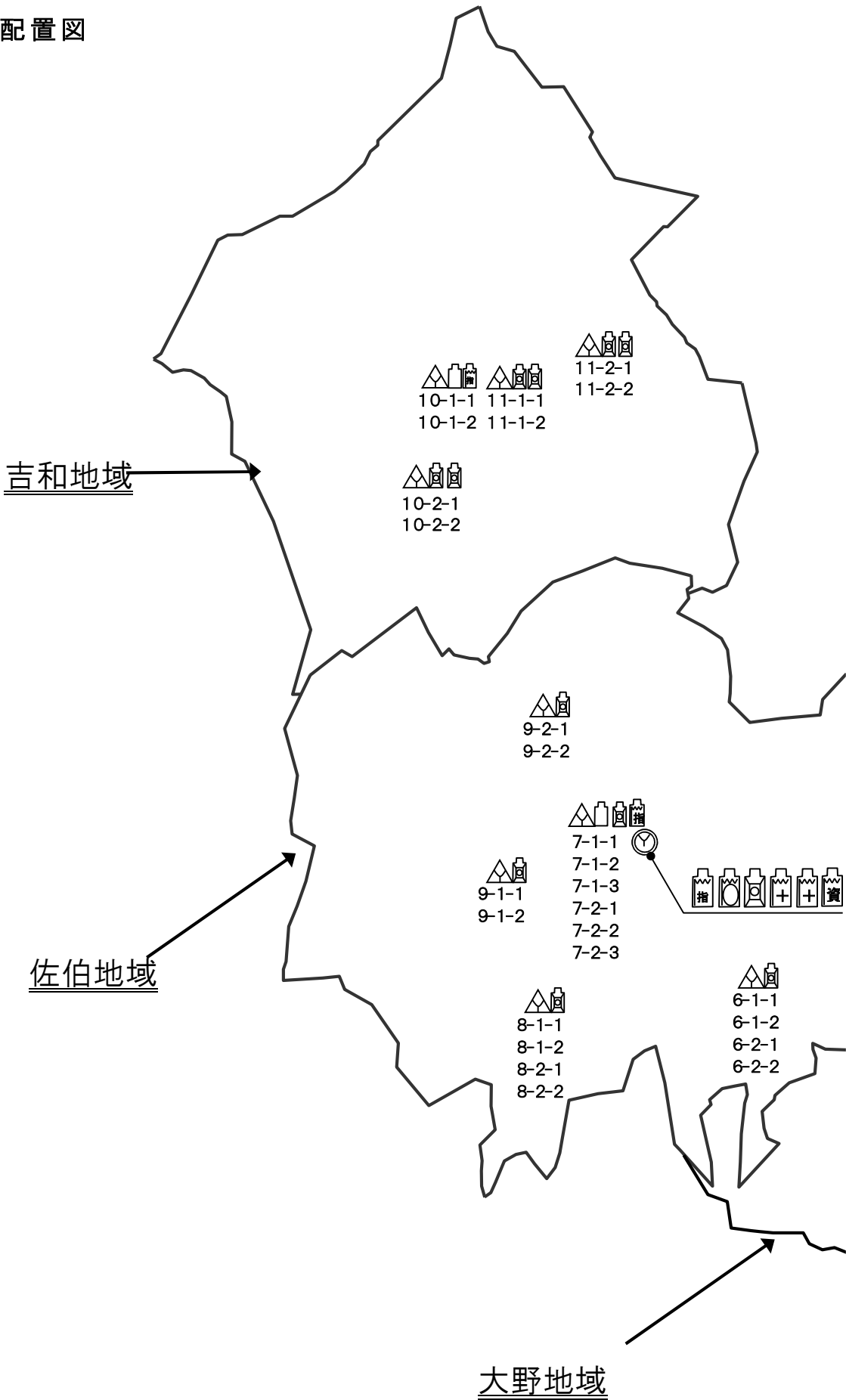


	廿 日 市 市				
位 置	北緯 34° 13' 53" ~ 34° 35' 00"				
	東経 132° 2' 11" ~ 132° 21' 04"				
地 域 別	廿 日 市	佐 伯	大 野	宮 島	吉 和
面 積	47.96km ²	194.85 km ²	70.77 km ²	30.39 km ²	145.52km ²
人 口	75,910 人	9,554 人	29,404 人	1,548 人	619 人
世 帯 数	33,625 世帯	4,754 世帯	12,922 世帯	834 世帯	337 世帯
常 備 消 防	廿日市市消防本部				広島市消防局
非 常 備 消 防	廿 日 市 市 消 防 団				

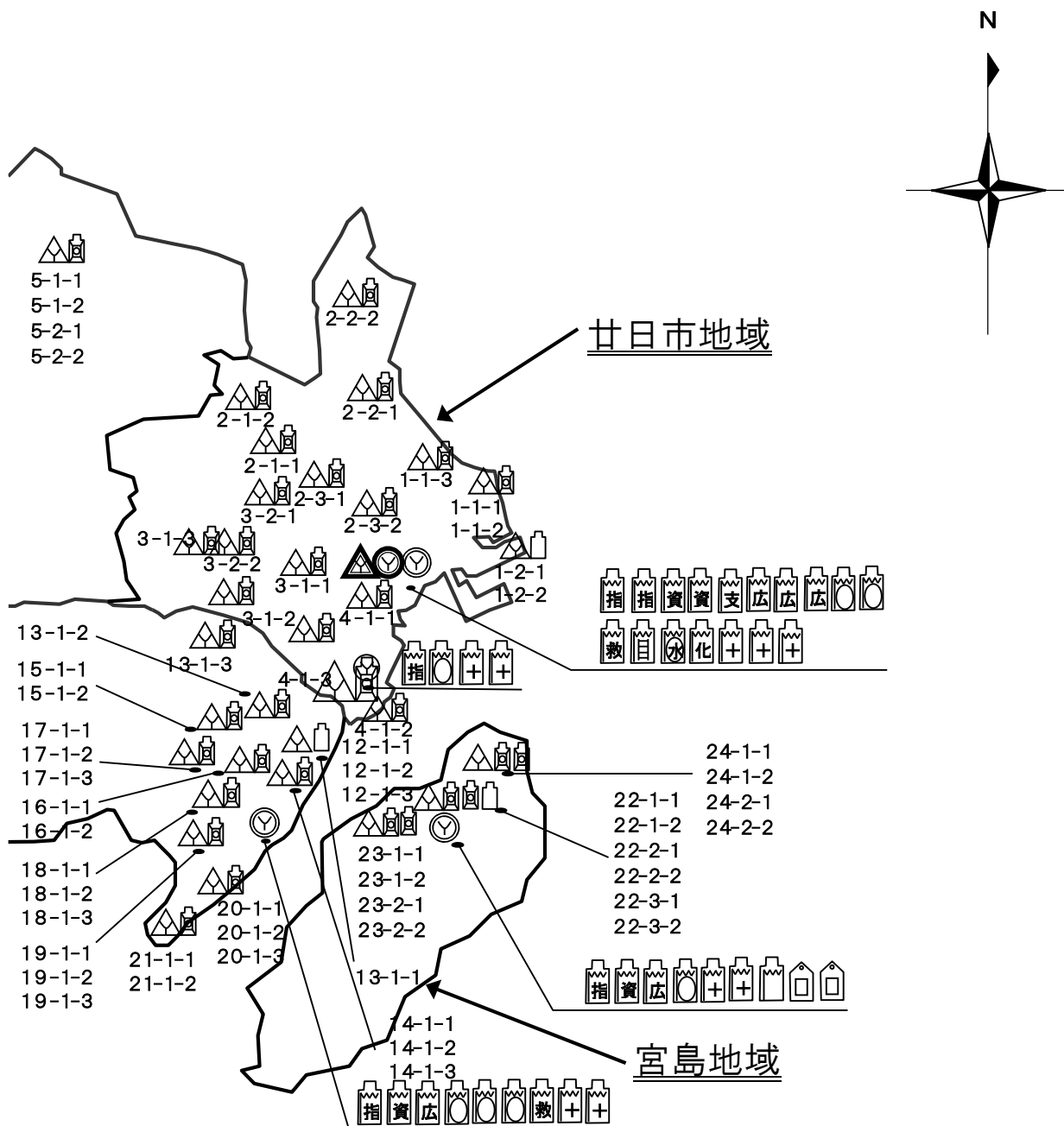
■ 消防本部・消防署の組織図



■ 消防施設の配置図



	消 防 本 部		指 揮 車		はしご付消防 自 動 車		消 防 ポ ン プ 自 動 車
	消 防 署		広 報 車		化学消防ポンプ 自 動 車		消 防 ポ ン プ 自 動 車
	西 分 署		人 員 搬 送 車		救 急 自 動 車		小型動力ポンプ 積 載 車
	消 防 団 本 部		資 機 材 搬 送 車		小型動力ポンプ 付 水 槽 車		消 防 艇
	消 防 団 車 庫		救 助 工 作 車		水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車		



■歴代消防長

氏 名		就任年月日	退職年月日	備 考
初	田 中 清 人	昭和32年 4月 1日	昭和34年 3月20日	町総務課長兼職
2	横 山 一 夫	昭和34年 3月20日	昭和36年10月16日	助役事務取扱
3	中 島 勇 夫	昭和36年10月17日	昭和37年 6月 1日	町長事務取扱
4	広 藤 鼎	昭和37年 6月 1日	昭和43年 4月13日	署長兼職
5	豊 田 正 夫	昭和43年 4月13日	昭和45年 4月11日	町長事務取扱
6	橋 詰 正	昭和45年 4月11日	昭和46年 1月 1日	職務代理
7	一 郷 喜 代 三	昭和46年 1月 1日	昭和49年 5月 8日	町長事務取扱
8	半 明 英 夫	昭和49年 5月 9日	昭和55年10月28日	町長事務取扱
9	橋 詰 正	昭和55年10月29日	平成元年 3月31日	S 55. 10. 29～S 56. 3. 31の間 職務代理・署長兼職
10	半 明 英 夫	平成元年 4月 1日	平成元年 6月30日	市長事務取扱
11	坂 本 博 文	平成元年 7月 1日	平成 8年 3月31日	H元. 7. 1～H 4. 3. 31の間 署長兼職
12	浅 倉 光 昭	平成 8年 4月 1日	平成 9年 3月31日	
13	冠 地 敏 行	平成 9年 4月 1日	平成13年 3月31日	H 9. 4. 1～H10. 3. 31の間 消防長代理・署長兼職
14	奥 田 哲 雄	平成13年 4月 1日	平成22年 3月31日	H13. 4. 1～H14. 3. 31の間 消防長代理
15	末 永 孝 幸	平成22年 4月 1日	平成25年 3月31日	
16	山 口 幸 正	平成25年 4月 1日	平成29年 3月31日	
17	中 田 健 史	平成29年 4月 1日	令和 2年 3月31日	
18	清 水 弘 文	令和 2年 4月 1日	現 在 に 至 る	

■歴代消防署長

○廿日市消防署長

	氏 名	就任年月日	退職（異動）年月日	備 考
初	明 石 康 造	昭和34年 5月17日	昭和37年 6月 1日	団長兼職
2	広 藤 鼎	昭和37年 6月 1日	昭和43年 4月13日	消防長兼職
3	橋 詰 正	昭和43年 4月13日	平成元年 3月31日	消防長兼職
4	坂 本 博文	平成元年 4月 1日	平成 4年 3月31日	H元. 7. 1～H4. 3. 31の間消防長兼職
5	浅 倉 光 昭	平成 4年 4月 1日	平成 7年 3月31日	次長兼職
6	松 田 陽 博	平成 7年 4月 1日	平成 8年 3月31日	
7	冠 地 敏 行	平成 8年 4月 1日	平成10年 3月31日	H9. 4. 1～H10. 3. 31の間消防長代理兼職
8	奥 田 哲 雄	平成10年 4月 1日	平成13年 3月31日	次長兼職
9	谷 口 正 好	平成13年 4月 1日	平成15年 3月31日	
10	久 保 田 浩	平成15年 4月 1日	平成20年 3月31日	
11	末 永 孝 幸	平成20年 4月 1日	平成22年 3月31日	次長兼職
12	久 保 田 浩	平成22年 4月 1日	平成24年 3月31日	次長兼職
13	坂 本 一 夫	平成24年 4月 1日	平成26年 3月31日	H25. 4. 1～H26. 3. 31の間西分署長兼職
14	西 本 健 二	平成26年 4月 1日	平成29年 3月31日	H26. 4. 1～H28. 3. 31の間西分署長兼職
15	玉 田 進	平成29年 4月 1日	平成31年 3月31日	西分署長兼職
16	田 中 浩 二	平成31年 4月 1日	現 在 に 至 る	H31. 4. 1～R2. 3. 31の間西分署長兼職

※ S34. 5. 17～S63. 3. 31廿日市町消防署長 S63. 4. 1～H17. 11. 2廿日市市消防署長

○佐伯消防署長

	氏 名	就任年月日	退職（異動）年月日	備 考
初	酒 井 和 文	平成31年 4月 1日	現 在 に 至 る	

○大野消防署長

	氏 名	就任年月日	退職（異動）年月日	備 考
初	田 中 猛	平成17年11月 3日	平成20年 3月31日	
2	山 田 幸 明	平成20年 4月 1日	平成21年 3月31日	
3	竹 内 詔 二	平成21年 4月 1日	平成22年 3月31日	
4	中 村 敏 行	平成22年 4月 1日	平成23年 3月31日	
5	大 島 一 志	平成23年 4月 1日	平成25年 3月31日	
6	西 本 健 二	平成25年 4月 1日	平成26年 3月31日	
7	大 丸 修	平成26年 4月 1日	平成27年 3月31日	
8	藤 井 正 実	平成27年 4月 1日	平成29年 3月31日	
9	坂 本 至	平成29年 4月 1日	平成30年 3月31日	
10	田 中 浩 二	平成30年 4月 1日	平成31年 3月31日	
11	大 原 雅 樹	平成31年 4月 1日	現 在 に 至 る	

※ 市町合併以降（H17. 11. 3～）の消防署長

○宮島消防署長

	氏 名	就任年月日	退職（異動）年月日	備 考
初	釜 谷 義 郎	平成17年11月 3日	平成20年 3月31日	
2	竹 内 詔 二	平成20年 4月 1日	平成21年 3月31日	
3	山 口 幸 正	平成21年 4月 1日	平成22年 3月31日	
4	竹 内 詔 二	平成22年 4月 1日	平成24年 3月31日	
5	大 丸 修	平成24年 4月 1日	平成26年 3月31日	
6	吉 村 正 己	平成26年 4月 1日	平成27年 3月31日	
7	清 水 弘 文	平成27年 4月 1日	平成29年 3月31日	
8	宮 原 寛	平成29年 4月 1日	平成30年 3月31日	
9	西 本 健 二	平成30年 4月 1日	令和 2年 3月31日	
10	中 原 尚 司	令和 2年 4月 1日	現 在 に 至 る	

※ 市町合併以降（H17. 11. 3～）の消防署長

■ 消防本部の事務分掌

総務課

総務係

- (1) 本部及び課の庶務に関すること。
- (2) 消防長の秘書に関すること。
- (3) 本部内の総合的な企画及び調整並びに本部内の進行管理に関すること。
- (4) 本部内の予算及び決算の総括並びに予算執行の調整に関すること。
- (5) 本部内の所掌事務に係る条例、規則、訓令等の総合調整に関すること。
- (6) 庁内連絡調整に関すること。
- (7) 消防庁舎の整備及び増改築並びに管理に関すること。
- (8) 庁内施設等の維持及び衛生管理に関すること。
- (9) 庁内の取締りに関すること。
- (10) 公印の管守（各所属に係るものを除く。）に関すること。
- (11) 文書の收受、送達、保存及び廃棄に関すること。
- (12) 組織機構及び事務改善に関すること。
- (13) 安全運転管理及び事故処理に関すること。
- (14) 儀式、行事及び会議に関すること。
- (15) 消防広報広聴の総合調整に関すること。
- (16) 情報公開制度及び個人情報保護制度の総合調整に関すること。
- (17) 消防協力者表彰に関する総合調整及び廿日市市消防表彰審査委員会に関すること。
- (18) 消防職員委員会に関すること。
- (19) 職員の任免、進退、賞罰、服務及び身分に関すること。
- (20) 職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関すること。
- (21) 服務、規律、職務の分析及び勤務評定に関すること。
- (22) 職員の公務災害及び賞じゅつに関すること。
- (23) 職員の研修に関すること。
- (24) 職員の服制及び被服等の貸与に関すること。
- (25) 職員の旅行命令及び旅費の事務の総括に関すること。
- (26) 職員表彰に関すること。
- (27) 職員の福利厚生及び衛生管理に関すること。
- (28) 他の課の所掌に属しない事務に関すること。

消防団係

- (1) 消防団の組織に関すること。
- (2) 消防団本部の事務局に関すること。
- (3) 消防団員の教育及び訓練に関すること。
- (4) 消防団員の定数、任免、賞罰、服務及び身分に関すること。
- (5) 消防団員の報酬及び費用弁償並びに退職報償金に関すること。
- (6) 消防団員の福利厚生、安全衛生、公務災害及び賞じゅつに関すること。
- (7) 消防団員の表彰に関すること。
- (8) 消防団員の服制及び被服等の貸与に関すること。
- (9) 消防団の広報に関すること。
- (10) 消防団の施設、車両及び消防機械器具の整備に関すること。
- (11) その他消防団に関すること。

予防課

指導係

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 建築物の許可、認可及び確認の同意に関する事。
- (3) 消防用設備等の設置、指導及び検査に関する事。
- (4) 防火対象物の査察に関する企画、査察指針の策定、査察技術及び違反処理技術の指導等に関する事。
- (5) 消防設備士及び消防設備点検資格者の育成指導に関する事。
- (6) 防火対象物の違反処理に関する事。
- (7) 火を使用する設備等の設置及び検査に関する事。
- (8) 防火対象物に係る統計に関する事。
- (9) 火災予防対策並びに防火及び防災指導に関する事。
- (10) 火災予防の広報広聴に関する事。
- (11) 防火管理体制の指導に関する事。
- (12) 火災その他の災害の原因及び損害の調査及び統計に関する事。
- (13) 火気使用制限及び措置命令に関する事。
- (14) 自衛消防、幼年少年消防クラブ、自主防災組織その他の防火防災団体の育成指導に関する事。
- (15) 消防法（昭和23年法律第186号）及び廿日市市火災予防条例（昭和37年条例第9号）に基づく届出、報告等に関する事。
- (16) 予防統計に関する事。
- (17) 課の事務で、他の係の所掌に属しない事務に関する事。

危険物係

- (1) 危険物製造所等の許可、認可、承認等に関する事。
- (2) 危険物施設の査察指針の策定並びに査察技術及び違反処理技術の指導等に関する事。
- (3) 危険物取扱者等の指導育成に関する事。
- (4) 危険物安全協会の運営の総合調整に関する事。
- (5) 高圧ガス保安法（昭和26年法律第204号）に基づく許可、届出等に関する事。
- (6) 火薬類取締法（昭和25年法律第149号）に基づく許可、届出等に関する事。
- (7) 少量危険物、指定可燃物等の規制に関する事。
- (8) 液化石油ガスの保安及び指導に関する事。
- (9) 少量危険物及び高圧ガス関係施設、危険物製造所等の消防統計に関する事。

警防課

警防係

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 警防計画及び警防対策に関する事。
- (3) 消防隊の運用に係る調整に関する事。
- (4) 消防戦術及び災害現場の指揮支援に関する事。
- (5) 災害現場活動の監察に関する事。
- (6) 訓練に係る計画、指導及び総合調整に関する事。
- (7) 消防車両、消防船舶、消防機械器具等の整備及び運用及び運用計画に関する事（他の課及び係の所掌に属するものを除く）。
- (8) 消防応援協定及び緊急消防援助隊に関する事。
- (9) 消防及び救助活動の統計に関する事。
- (10) 警防業務の広報に関する事。
- (11) 課の事務で、他の係の所掌に属しない事務に関する事。
- (12) 課内の財産の取得及び処分に関する事。

- (13) 課内の物品の入札、購入及び修繕の契約に関する事。
- (14) 課内の工事の入札及び請負契約に関する事。
- (15) 課内の業務の委託に関する事。
- (16) 課内の財務及び予算執行の総括に関する事。
- (17) 消防水利の整備、管理及び廃止に関する事。
- (18) 廿日市市開発指導要綱（平成20年告示第64号）による指導に関する事。
- (19) 中高層建築物等届出による審査に関する事。
- (20) 道路位置指定届出による審査に関する事。

救急係

- (1) 救急対策及び救急業務計画に関する事。
- (2) 救急技術の研究及び指導に関する事。
- (3) 救急高度化及び救急に関する研修に関する事。
- (4) 訓練に係る計画及び指導に関する事。
- (5) 救急車両及び救急機械器具の整備及び運用に関する事。
- (6) 救急統計に関する事。
- (7) 医療機関等との連携に関する事。
- (8) ドクターヘリ等との運用、連携に関する事。
- (9) メディカルコントロール協議会の事務に関する事。
- (10) 応急手当の普及啓発に関する事。
- (11) 救急業務の広報に関する事。
- (12) その他救急業務に関する事。

通信指令第1係及び通信指令第2係

- (1) 消防隊の出動計画並びに災害の出動指令及び出動部隊の管制に関する事。
- (2) 消防通信の確保及び統制に関する事。
- (3) 職員及び消防団員の招集に関する事。
- (4) 通信指令技術の指導及び訓練に関する事。
- (5) 災害情報の収集、連絡及び記録に関する事。
- (6) 火災警報及び気象情報に関する事。
- (7) 救急医療情報に関する事。
- (8) 広島県内広域消防応援協定、広島県内航空消防応援協定等に基づく応援に関する事。
- (9) 消防支援情報等の収集及び管理に関する事。
- (10) その他通信指令業務及び消防情報システム業務に関する事。

■消防庁舎（車庫）の現況

庁舎（車庫） の 名 称	所 在 地	構 造	敷地面積	建築面積	延べ面積	備 考
本 部 廿日市消防署	串戸一丁目9-33	事務所棟 鉄骨造 5階建	3,326.03㎡	1,189.01㎡	事務所棟 2,301.81㎡	H21.10.30 建築 市有地
		車庫棟 鉄骨造 2階建			車庫棟 1,370.82㎡	H22. 3.10 建築
		訓練塔 鉄筋コンクリート 一部鉄骨造		146.05㎡	訓練塔 428.43㎡	H21. 2.16 建築
西 分 署	阿品台四丁目1-21	鉄筋コンクリート 2階建	349.79㎡	280.72㎡	435.66㎡	H 2.11 建築 H18. 3 増築 市有地
佐伯消防署	津田1147-10	鉄筋コンクリート 2階建	1,217.05㎡	351.07㎡	448.63㎡	H元.11 建築 市有地
大野消防署	大野一丁目1-6	鉄筋コンクリート 2階建	630.00㎡	307.71㎡	622.53㎡	S46. 3 建築 H10. 3 改築 H26. 1 リニューアル 市有地
宮島消防署	宮島町381-2	鉄筋コンクリート 3階建	239.89㎡	167.90㎡	442.69㎡	S50. 9 建築 H24. 3 リニューアル 市有地
杉 之 浦 職員住宅	宮島町990-2	鉄筋コンクリート 3階建	407.86㎡	225.74㎡	426.51㎡	H 7. 9 建築 市有地
宮 島 消防用倉庫	宮島町1170-1, -2	鉄筋コンクリート 2階建	415.57㎡	98.00㎡	154.00㎡	H 2. 3 建築 市有地



本部・廿日市消防署



廿日市消防署西分署



佐伯消防署



大野消防署



宮島消防署

■消防署車両・ポンプ配置状況 合計 43台・2艇

区分	車 種 (機 種)	車 名	整 備 年 度	ポ ン プ		乗車 定員
				製 作 所	級 別	
廿 日 市 消 防 署 17 台	小型水槽付消防ポンプ自動車(CAFS)	日 野	H25	(株)モリタ	A-2	6
	化学消防ポンプ自動車	日 野	H28	日本機械工業(株)	A-2	6
	水槽付消防ポンプ自動車	い す ゞ	H12	GMいちほら工業(株)	A-2	6
	はしご付消防自動車(35m級)	日 野	H19			6
	救助工作車	日 野	H17			6
	小型動力ポンプ付水槽車	い す ゞ	H30	(株)シバウラ防災製作所	B-2	2
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H30			7
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H24			7
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H21			7
	指揮車	ト ヨ タ	H10			8
	指揮支援車	ト ヨ タ	H23			10
	人員搬送車	ト ヨ タ	H11			15
	資機材搬送車	日 産	R 1			3
	資機材搬送車	三 菱	H24			3
	査察広報車	ト ヨ タ	H23			7
	査察広報車	ダイハツ	H12			4
	査察広報車	ス ズ キ	H27			4
西 分 署 4 台	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H22	(株)モリタ	A-1	6
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H29			7
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H23			7
	指揮車	日 産	H26			8
佐 伯 消 防 署 6 台	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H19	(株)モリタ	A-2	6
	小型動力ポンプ付積載車	ト ヨ タ	H15	トーハツ(株)	B-2	6
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H25			7
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H21			7
	指揮車	ト ヨ タ	H14			8
	資機材搬送車	三 菱	H26			3

区分	車 種（機 種）	車 名	整 備 年 度	ポ ン プ		乗車 定員
				製 作 所	級 別	
大 野 消 防 署 9 台	小型水槽付消防ポンプ自動車(CAFS)	日 野	H24	(株)モリタ	A-2	6
	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H16	(株)モリタ	A-2	6
	小型水槽付消防ポンプ自動車	い す ゞ	H14	(株)モリタ	A-2	6
	救助工作車	日 野	H25			6
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H25			7
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H21			7
	指揮車	ホ ン ダ	H11			8
	資機材搬送車	日 産	H30			3
	査察広報車	マ ツ ダ	H12			4
宮 島 消 防 署 7 台・ 2 艇	小型水槽付消防ポンプ自動車	日 野	R 1	(株)モリタ	A-2	5
	消防ポンプ自動車	日 野	H26	(株)モリタ	A-2	6
	高規格救急自動車	日 産	R 1			7
	高規格救急自動車	日 産	H26			8
	指揮車	日 産	H15			8
	資機材搬送車	い す ゞ	H 8			6
	広報車	ス バ ル	H10			2
	消防艇（19トン級）	木曽造船	H18			30
	救急救助艇（4トン級）	ヤ マ ハ	H29			10

■一般会計及び消防費の決算（４年）・予算（２年）の状況

（単位：千円）

年 度 \ 区 分	一般会計 決算額（A）	消 防 費 決算額（B）	B／A （％）
平成27年度決算	48,580,452	2,357,948	4.9
平成28年度決算	48,406,629	1,955,325	4.0
平成29年度決算	52,642,935	2,023,751	3.8
平成30年度決算	58,300,921	2,259,950	3.9
平成31年度予算※	55,530,000	2,547,446	4.6
令和２年度予算※	53,000,000	2,708,523	5.1

※平成31年度・令和２年度については、予算額を掲載

■消防職員数の推移

階級 年度別	定 数	実 員	消防吏員							再任用 職 員	事 務 吏 員	備 考
			消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士			
昭和32年	3	3		1		1	1					
昭和33年	3	3		1		1	1					
昭和34年	13	11			1	1	1		8			町吏員兼職(8)
昭和35年	13	13			1	1	1		10			町吏員兼職(11)
昭和36年	13	13			1	1	2		9			町吏員兼職(11)
昭和37年	13	12			1		2		9			町吏員兼職(11)
昭和38年	17	11			1	1	1		8			町吏員兼職(11)
昭和39年	21	21		1		1	1		18			町吏員兼職(7)
昭和40年	21	20		1	1	1	4		13			町吏員兼職(7)
昭和41年	21	21		1	1	1	4		14			
昭和42年	21	21		1	1	1	4		14			
昭和43年	25	25		1	1	1	4		18			
昭和44年	27	25			1	1	4		19			
昭和45年	27	25			1	1	4		19			
昭和46年	27	25			1	1	4		19		1	
昭和47年	28	27			1	1	6		19		1	
昭和48年	35	27			1	1	7		18		1	
昭和49年	35	31			1	2	7	1	20		1	
昭和50年	35	34			1	2	6	1	24		1	
昭和51年	36	34			1	2	7	5	19		1	
昭和52年	36	35			2	1	7	5	20		1	
昭和53年	36	34			2	2	6	5	19		1	
昭和54年	36	35			2	3	5	9	16		1	
昭和55年	38	37			2	4	4	11	16		1	
昭和56年	38	38		1	2	4	5	9	17			
昭和57年	42	40		1	2	4	5	8	20		1	
昭和58年	46	45		1	3	4	5	9	23		1	
昭和59年	48	47		1	3	4	5	10	24		1	
昭和60年	48	47		1	3	4	5	10	24		1	
昭和61年	50	49		1	3	4	5	13	23		1	
昭和62年	52	52		1	3	5	7	11	25			
昭和63年	56	56		1	3	5	8	13	26			

階級 年度別	定 数	実 員	消防吏員							再任用 職 員	事 務 吏 員	備 考
			消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士			
平成元年	64	64		3	3	2	10	17	29			
平成 2年	70	70	1	2	3	3	10	17	34			
平成 3年	75	75	1	2	4	2	11	16	39			
平成 4年	79	79	1	2	4	5	15	9	43			
平成 5年	85	85	1	2	4	5	15	9	49			
平成 6年	90	90	1	2	4	4	15	9	55			
平成 7年	95	95	1	3	3	4	18	11	55			
平成 8年	98	98	1	2	5	8	14	13	55			
平成 9年	100	100		1	6	7	14	18	54			
平成10年	103	103	1	1	5	10	15	19	52			
平成11年	105	105	1	1	5	10	22	20	46			
平成12年	106	105	1	1	5	11	32	12	43			
平成13年	107	107		2	5	9	40	12	39			
平成14年	108	108	1	1	3	9	48	7	39			
平成15年	109	109	1	2	3	9	50	5	39			
平成16年	110	110	1	2	5	14	43	13	32			他団体派遣1名含む
平成17年	110	110	1	2	5	15	43	14	30			他団体派遣1名含む
平成18年	179	179	1	4	13	29	78	24	30		1	他団体派遣1名含む
平成19年	179	179	1	4	14	28	78	27	27		1	他団体派遣1名含む
平成20年	179	177	1	2	13	24	78	28	31		1	他団体派遣1名含む
平成21年	179	177	1	2	12	26	78	29	29		2	他団体派遣1名含む
平成22年	179	177	1	2	11	28	80	24	31		2	他団体派遣1名含む
平成23年	179	177	1	2	12	26	82	25	29	2	1	他団体派遣1名含む
平成24年	179	177	1	2	13	26	82	22	31	4	2	他団体派遣1名含む
平成25年	179	179	1	1	12	33	76	17	39	3	2	他団体派遣1名含む
平成26年	179	179	1	1	12	32	75	19	39	1	1	※他団体派遣1名
平成27年	179	179	1	1	12	30	70	16	49	2	1	※他団体派遣1名
平成28年	179	179	1	1	12	31	70	16	48	3	1	※他団体派遣1名
平成29年	179	178	1	1	9	30	68	13	56	9	1	※他団体派遣1名
平成30年	179	177	1	1	10	30	67	13	55	11	1	※他団体派遣1名
令和元年	179	177	1	1	10	31	69	10	55	13	1	※他団体派遣1名
令和 2年	179	178	1	1	11	30	68	12	55	12	1	※他団体派遣1名

※ 実員は定数外職員（育休・他団体派遣等）を除く

■消防職員の年齢

階 級 年 齢	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計	再任用 職 員	事 務 吏 員
21 歳 未 満							2	2		
21歳以上25歳以下							18	18		
26歳以上30歳以下							27	27		
31歳以上35歳以下					7	4	8	19		
36歳以上40歳以下					15	2		17		1
41歳以上45歳以下				9	13	1		23		
46歳以上50歳以下			4	11	25	5		45		
51歳以上55歳未満		1	3	5	5			14		
55 歳 以 上	1		4	5	3			13	12	
人 員	1	1	11	30	68	12	55	178	—	—
平 均	57.0	54.0	52.5	48.0	44.0	40.5	26.9	39.5	—	—

※ 平均は、再任用及び事務吏員を除く

■消防職員の勤務年数

階 級 年 数	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計	再任用 職 員	事 務 吏 員
1年未満							4	4		
1年以上 3年未満							6	6		1
3年以上 5年未満							16	16		
5年以上 8年未満							21	21		
8年以上11年未満					3	3	7	13		
11年以上14年未満					8	3	1	12		
14年以上17年未満					5			5		
17年以上20年未満				4	9	1		14		
20年以上23年未満				2	3			5		
23年以上26年未満			1	3	15	4		23		
26年以上29年未満			2	6	16	1		25		
29年以上32年未満		1	3	10	4			18		
32年以上35年未満	1		3	3	2			9		
35 年 以 上			2	2	3			7	12	
人 員	1	1	11	30	68	12	55	178	—	—
平 均	34.00	31.00	31.45	27.03	22.25	17.08	4.69	18.04	—	—

※ 平均は、再任用及び事務吏員を除く

■消防職員の資格・免許・特殊技能取得状況

階 級 区 分		計	消防監	消 防 司令長	消 防 司令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	再任用
自動車運転免許	大 型 特 殊	9				7	2			
	大 型 2 種	4				3	1			
	大 型 1 種	116			7	28	56	8	14	3
	中 型	44			1	2	8	3	27	3
	中 型 (8t 限 定)	17	1	1	3	2	4	1		5
	準 中 型	0								
	準中型(5t限定)	11							11	
	普 通	3							3	
無線技師	陸 上 無 線	57	1	1	6	10	12	2	16	9
	海 上 無 線	6				2	1		1	2
	レ ー ダ ー 無 線	1								1
	アマチュア無線	9			2	4	3			
危険物取扱者	甲 種	1					1			
	乙 種	70		1	5	20	29	4	9	2
	丙 種	14			1	6	6	1		
消防設備士 乙種		3			1		1			1
ガス溶接技能講習修了者		17			1	10	5	1		
小型船舶操縦士		66			3	20	26	5	8	4
救 急 救 命 士		55	1		2	9	23	3	10	7
潜 水 士		113		1	4	21	45	7	28	7
予 防 技 術 資格者	防 火 査 察	62			7	18	19	4	11	3
	消防用設備	22		1	4	4	9	1	1	2
	危 険 物	30			4	7	12		4	3
足 場 組 立 工 事 作 業 主 任 者		5		1	1	2	1			
衛 生 管 理 者		4		1	1		1	1		
整 備 管 理 者		1			1					
電 気 工 事 士		3				1				2
(小型)移動式クレーン 運 転 資 格 者		59			3	15	28	2	9	2
玉 掛 け 技 能 講 習 修 了 者		72			3	19	34	3	11	2
酸素欠乏・硫化水素 危 険 作 業 主 任 者		51			1	20	23	2	5	
高 所 作 業 車 運 転 技 能 者		3				2	1			
特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任 者		21	1		2	9	5			4

■消防職員の公務災害発生状況（過去１０年間）

年度別	負傷時の状況			治療期間		
	消防活動	訓練	その他	１週間未満	１か月未満	１か月以上
平成22年度	2	1		2		1
平成23年度	3	1		3	1	
平成24年度	1					1
平成25年度		2			1	1
平成26年度		1		1		
平成27年度		2		1		1
平成28年度						
平成29年度		3	1			4
平成30年度		1	1		2	
令和元年度	1	1				2

■消防職員の教養・研修状況

種 別		階 級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	再任用	計
消防大学校	専 科	警 防 科		1							1
		救 助 科			1						1
		予 防 科			2	4					6
	幹 部	本 科								1	1
		幹 部 研 修 科								1	1
		幹 部 科	1		1						2
	特 別	違 反 是 正				1					1
		緊急消防援助隊教育科				1					1
消防学校	初 任 教 育		1	1	11	32	68	12	50	12	187
	専 科	警 防 科				2	2			1	5
		無 線 通 信		1	1	4	7			2	15
		特 殊 災 害 科				7	2			1	10
		予 防 科				1				6	7
		査 察			1		1			4	6
		予 防 査 察					2			1	3
		危 険 物			1	6	1			4	12
		火 災 調 査	1		4	6	6			3	20
		予 査 防 火 査 察			2	5	2		1		10
		消 防 用 設 備 等				3	8				11
		危 険 物 科				3	5	1	1		10
		火 災 調 査 科			3	2	3				8
		救 急 I	1	1	8	17	11			12	50
		救 急 II	1	1	8	17	11			12	50
	急 救 科	救 急 科（標準）			3	15	41	6	2		67
		救 急 科					15	5	38		58
		救 助 科	1	1	9	31	60	9	12	11	134
		初 級 幹 部 科			1	7	1				9
	特 別	中 級 幹 部 科			4	3					7
		水 難 救 助		1		3	2			1	7
		上 級 救 助				3	3				6
		団 担 当	1		1	3	4		1	4	14
		は し ご			1	1					2
		救 命 士 再 教 育			1	1	6			1	9
		気 管 挿 管 講 習	1		2	7	11	1		5	27
		気 管 挿 管（AWS認定）				5	10		2		17
		リ レ ー 研 修					1			2	3
		現 場 指 揮 者			2	5				2	9
	救 急 救 命 士 養 成 所		1		2	9	17	1		7	37

■消防職員の採用者・退職者の推移

年度別	採用者	退職者
平成27年	10	2
平成28年	3	13
平成29年	13	4
平成30年	4	4
令和元年	2	4
令和 2年	4	—

予 防



消防写生大会

防 火 対 象 物	3, 1 4 0 棟	(3 5 棟)
-----------	------------	-----------

危 険 物 施 設	2 8 8 施設	(1 1 施設)
-----------	----------	------------

火 災 件 数	2 1 件	(1 件)
---------	-------	---------

() 内吉和地域

※吉和地域は広島市消防局の数値、総数に含まない。

■防火対象物の査察状況（令和元年度中）

区 分	防 火 対 象 物								
	特定防火対象物			非特定防火対象物			計		
	対象物数	実施数	実施率（％）	対象物数	実施数	実施率（％）	対象物数	実施数	実施率（％）
廿日市地域	456	321	70.4	1,387	864	62.3	1,843	1,185	64.3
佐伯地域	86	44	51.2	436	215	49.3	522	259	49.6
大野地域	205	111	54.1	368	204	55.4	573	315	55.0
宮島地域	111	106	95.5	91	71	78.0	202	177	87.6
総 数	858	582	67.8	2,282	1,354	59.3	3,140	1,936	61.6
吉和地域 (※)	12	10	83.3	23	26	113.0	35	36	102.9

※ 吉和地域は総数に含まない

※ 対象物数及び実施数ともに、単位は「棟」とする

■危険物施設査察状況（令和元年度中）

区 分	製造所			貯蔵所			取扱所			計		
	施設数	実施数	実施率 (%)	施設数	実施数	実施率 (%)	施設数	実施数	実施率 (%)	施設数	実施数	実施率 (%)
廿日市地域	1	0	0	100	69	69.0	44	36	81.8	145	105	72.4
佐伯地域	2	2	100.0	30	25	83.3	15	12	80.0	47	39	83.0
大野地域	1	1	100.0	56	56	100.0	23	23	100.0	80	80	100.0
宮島地域				12	10	83.3	4	4	100.0	16	14	87.5
総 数	4	3	75.0	198	160	80.8	86	75	87.2	288	238	82.6
吉和地域(※)				6	0	0	5	3	60.0	11	3	27.3

※ 吉和地域は総数に含まない

■建築同意処理状況（令和元年度中）

区 分		処理状況	防火対象物	指 定 外 (一般住宅を含む)	計
建 築 物	新 築		5 0	3 3	8 3
	増 築		4	8	1 2
	そ の 他		3		3
計			5 7	4 1	9 8

■中高層建築物（3 階以上）の状況

階数	3F	4F	5F	6F	7F	8F	9F	10F	11F	12F	13F	14F	15F	計
区分														
廿日市 地域	314	156	91	23	17	12	3	19	6	9	2	3	3	658
佐伯 地域	28	4	2	1										35
大地 野域	95	39	8	5		2	4	7		1	1	1		163
宮島 地域	48	22	6											76
総 数	485	221	107	29	17	14	7	26	6	10	3	4	3	932
吉和 地域	2			1										3

※ 吉和地域は総数に含まない

■ 幼年少年女性消防クラブ結成状況

区 分	地 域	ク ラ ブ 名	クラブ員数	結成年月日
保 育 園	廿日市	原保育園幼年消防クラブ	15	S 63. 4. 20
		平良保育園幼年消防クラブ	46	〃
		宮内保育園幼年消防クラブ	43	S 63. 4. 21
		佐方保育園幼年消防クラブ	29	S 63. 4. 22
		地御前保育園幼年消防クラブ	32	S 63. 4. 26
		串戸保育園幼年消防クラブ	20	〃
		阿品台東保育園幼年消防クラブ	25	S 63. 4. 28
		阿品台西保育園幼年消防クラブ	21	〃
		宮園保育園幼年消防クラブ	42	H 2. 4. 23
		あい保育園住吉幼年消防クラブ	22	H 23. 4. 11
		あい保育園串戸幼年消防クラブ	16	H 28. 9. 20
		広島西こども発達支援センターくれよん	7	〃
		にこにこの森保育園幼年消防クラブ	20	〃
		アトリエレイこども舎幼年消防クラブ	8	〃
		みどりの森ようこう保育園幼年消防クラブ	16	〃
	佐 伯	津田保育園幼年消防クラブ	11	H 6. 11. 22
		友和保育園幼年消防クラブ	13	〃
	大 野	深江保育園幼年消防クラブ	52	H 4. 12. 25
		池田保育園幼年消防クラブ	30	〃
		いもせ保育園幼年消防クラブ	35	〃
		梅原保育園幼年消防クラブ	25	〃
		鳴川保育園幼年消防クラブ	4	〃
		公私連携型保育所丸石保育園幼年消防クラブ	15	R元. 5. 27
計 23 クラブ			547 名	
幼 稚 園	廿日市	山陽女子短期大学附属幼稚園幼年消防クラブ	35	S 63. 6. 3
		ふじ幼稚園・ふじ保育園幼年消防クラブ	46	S 63. 7. 5
		ほうりん廿日市幼稚園幼年消防クラブ	80	S 63. 7. 15
		つくし幼稚園幼年消防クラブ	109	S 63. 11. 7
		くすのき幼稚園幼年消防クラブ	31	H 6. 6. 3
		エルベ幼稚園館幼年消防クラブ	11	H 21. 7. 1
	佐 伯	友和幼稚園幼年消防クラブ	17	H 7. 11. 8
	大 野	かえで幼稚園幼年消防クラブ	56	H 7. 3. 31
	宮 島	宮島幼稚園幼年消防クラブ	18	H 2. 6. 20
	計 9 クラブ			403 名
少 年	廿日市	あゆみ子ども会少年消防クラブ	14	H元. 7. 8
	計 1 クラブ		14 名	
合 計 33 クラブ			964 名	
吉和保育園幼年消防クラブ（広島市消防局）			15	H 10. 5. 28
計 1 クラブ			15 名	

■幼年少年女性消防クラブ活動状況（令和元年度中）

区 分	実 施 回 数								
	廿日市 地 域	佐 伯 地 域	大 地 野 域	宮 地 島 域	総 計	吉 地	和 域		
防 火 広 報				1	1		1		
防 火 訪 問									
応 急 手 当	2		2	1	5				
防 火 映 画	18	2	6	1	27				
消 防 訓 練	26	3	7	2	38		1		
消 防 車 見 学	27	3	7	1	38				
消 防 出 初 式	開催				1				
リ ー ダ ー 研 修	1回1クラブ								

※ 吉和地域は総計に含まない

■広報活動状況（令和元年度中）

区 分	実 施 回 数								
	廿日市 地 域	佐 伯 地 域	大 地 野 域	宮 地 島 域	総 計	吉 地	和 域		
火 災 予 防 広 報 （ 放 送 ）		2	2	8	12		1		
広 報 紙 掲 載									
消 防 訓 練 指 導	91	15	13	13	132		2		
自 主 防 災 訓 練 指 導	7		3		10		1		
消 防 施 設 見 学	20	1	5	1	27				

※ 吉和地域は総計に含まない

■火災発生状況（令和元年中）

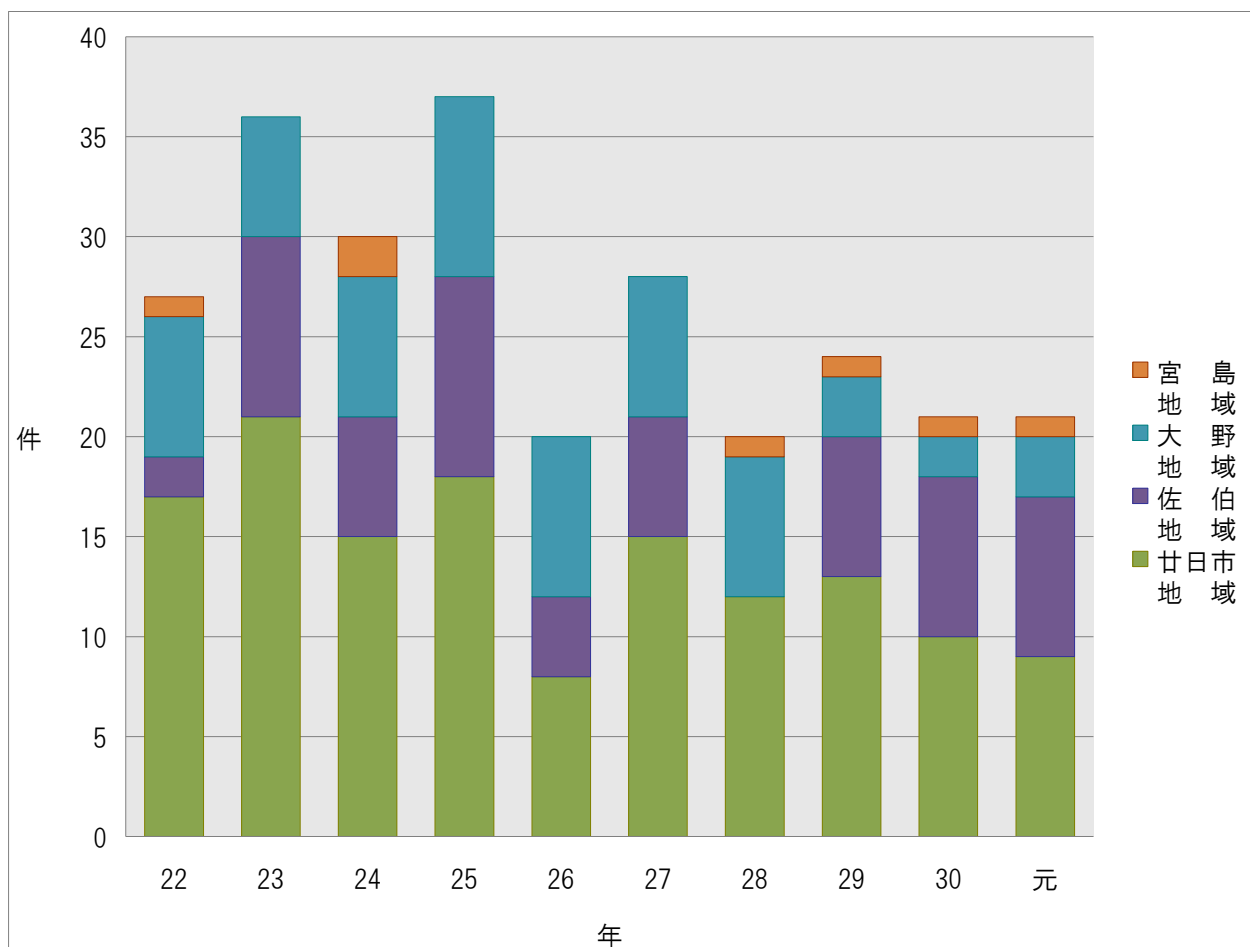
区 分		廿日市地域	佐伯地域	大野地域	宮島地域	総 数	吉和地域
出 火 件 数 (件)	総 数	9	8	3	1	21	1
	建 物	2	5	1		8	1
	林 野	1		1		2	
	車 両	3	2			5	
	船 舶						
	航 空 機						
	そ の 他	3	1	1	1	6	
建 物 焼 損 棟 数 (棟)	総 数	1	12	1		14	1
	全 焼		6			6	1
	半 焼						
	部 分 焼	1				1	
	ぼ や		6	1		7	
	その他						
建物焼損面積(m ²)		1	524			525	76
林野焼損面積(a)				88		88	
死 傷 者 (人)	死 者						
	負 傷 者	1	1		1	3	
り 災 世 帯		2	5			7	
り 災 人 員(人)		5	8			13	
損 害 額 (千円)	総 数	95	54,154	123	3	54,375	7,993
	建 物	18	53,064	123		53,205	7,972
	林 野						
	車 両	77	1090			1,167	
	船 舶						
	航 空 機						
	そ の 他				3	3	21

※ 吉和地域は総数に含まない

■過去10年の地域別火災件数

地域 年	廿日市 地域	佐伯 地域	大地野 地域	宮島 地域	総数	吉和 地域
平成 22 年	17	2	7	1	27	1
平成 23 年	21	9	6		36	
平成 24 年	15	6	7	2	30	
平成 25 年	18	10	9		37	3
平成 26 年	8	4	8		20	3
平成 27 年	15	6	7		28	2
平成 28 年	12		7	1	20	1
平成 29 年	13	7	3	1	24	1
平成 30 年	10	8	2	1	21	
令和 元 年	9	8	3	1	21	1

※ 吉和地域は総数に含まない



警 防



小型水槽付消防ポンプ自動車（宮島1）

火災出動件数	21件	（ 1件 ）
--------	-----	--------

その他の出動件数	510件	（ 10件 ）
----------	------	---------

（ ）内吉和地域

※ 吉和地域は広島市消防局の数値、総数に含まない

■訓練実施状況（令和元年中）

訓練種別	回数	人数	訓練実施時間
規律訓練	4	40	6時間 30分
ポンプ基本操法訓練	2	13	2時間 00分
梯子車訓練	47	189	54時間 00分
機関員訓練	611	2,256	865時間 30分
放水・ホース延長訓練	196	1,103	276時間 30分
機械器具取扱訓練	241	1,272	363時間 30分
救助指導会訓練	288	1,759	903時間 30分
実戦応急操法訓練	2	10	3時間 00分
総合（大規模）訓練	3	45	5時間 00分
中規模訓練	3	31	7時間 00分
小規模訓練	13	130	41時間 30分
救急訓練	185	850	216時間 00分
救助訓練	219	1,218	380時間 30分
水防訓練	6	45	13時間 30分
潜水訓練	34	299	156時間 00分
その他防ぎょ訓練	55	303	67時間 00分
計	1,909	9,563	3,361時間 00分

■水利施設状況

種 別 地域別	消 火 栓		防 火 水 槽										井 戸		池 ・ 濠	河 川	海 水	プ ル	そ の 他	計			
			公 設						耐 震 性												私 設		
			20 ㄱ 39 ㎡	40 ㄱ 59 ㎡	60 ㄱ 99 ㎡	100 ㎡ 以 上	40 ㄱ 59 ㎡	60 ㄱ 99 ㎡	100 ㎡ 以 上	40 ㄱ 59 ㎡	60 ㄱ 99 ㎡	100 ㎡ 以 上											
	公 設	私 設									公 設	私 設											
廿 日 市 域	870	0	9	145	2		9	1	3	11	2	1		1	5	4	10	16		1,089			
			183																				
佐 地 伯 域	178	9		110	10	1	14				1					54			2		379		
			136																				
吉 地 和 域	6	0		36			3					1	2			8			1		57		
			42																				
大 地 野 域	592	0	1	97			5											3	2		700		
			103																				
宮 地 島 域	200	20		12	3	12												2	1	1	251		
			27																				
計	1,875		10	400	15	13	31	1	3	12	3	3		1	5	66	15	22	1	2,476			
			491																				

■火災出動状況（令和元年中）

種 別 署所別	火 災 出 動								
	出 動 件 数	内 訳					出 動 人 員	出 動 台 数	放 水 台 数
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他			
廿日市消防署	4	1		2		1	56	15	1
西 分 署	5	1		1		3	77	22	2
佐伯消防署	8	5		2		1	142	44	10
大野消防署	3		1			2	80	23	5
宮島消防署	1					1	6	2	
計	21	7	1	5		8	361	106	18
吉和地域	1	1					24	6	1

※ 吉和地域は計に含まない

■その他の出動状況（令和元年中）

種 別 署所別	そ の 他 の 出 動								
	出 動 件 数	内 訳						出 動 人 員	出 動 台 数
		風 水 害 等	特 別 警 戒	捜 索	誤 報 誤 認	応 援 出 動	そ の 他		
廿日市消防署	218	1			7	3	207	1,044	259
西 分 署	113						113	363	115
佐伯消防署	51						51	207	55
大野消防署	93				5		88	387	104
宮島消防署	35			1	1		33	128	59
計	510	1		1	13	3	492	2,129	592
吉和地域	10				1		9	82	23

※ 吉和地域は計に含まない

■過去3年間の火災出動状況

種 別 年 別	火 災 出 動					
	出 動 件 数	内 訳				
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他
平成29年	24	13				11
平成30年	21	7	4	4		6
令和元年	21	7	1	5		8

■過去3年間のその他の出動状況

種 別 年 別	そ の 他 の 出 動						
	出 動 件 数	内 訳					
		風 水 害 等	特 別 警 戒	捜 索	誤 報 誤 認	応 援 出 動	そ の 他
平成29年	487	2		3	5	3	474
平成30年	591	23		3	11	27	527
令和元年	510	1		1	13	3	492

■過去3年間の船舶出動状況

種 別 年 別	船 種 別	船 舶 出 動					
		出 動 件 数	内 訳				
			火 災	救 急	救 助	水 難	そ の 他
平成29年	消防艇	41		40			1
	救急救助艇	5		3		1	1
平成30年	消防艇	66		64			2
	救急救助艇	10		4		3	3
令和元年	消防艇	41	1	35	1		4
	救急救助艇	9		6	1		2

救急・救助



高規格救急自動車（宮島救急2）

救 急 出 場 件 数	5, 5 3 1 件	（ 5 9 件 ）
搬 送 人 員	4, 9 2 8 人	（ 5 4 人 ）
救 助 出 動 件 数	7 0 件	（ 2 件 ）

（ ）内吉和地域

※ 吉和地域は広島市消防局の数値、総数に含まない

■救急業務実施状況（令和元年中）

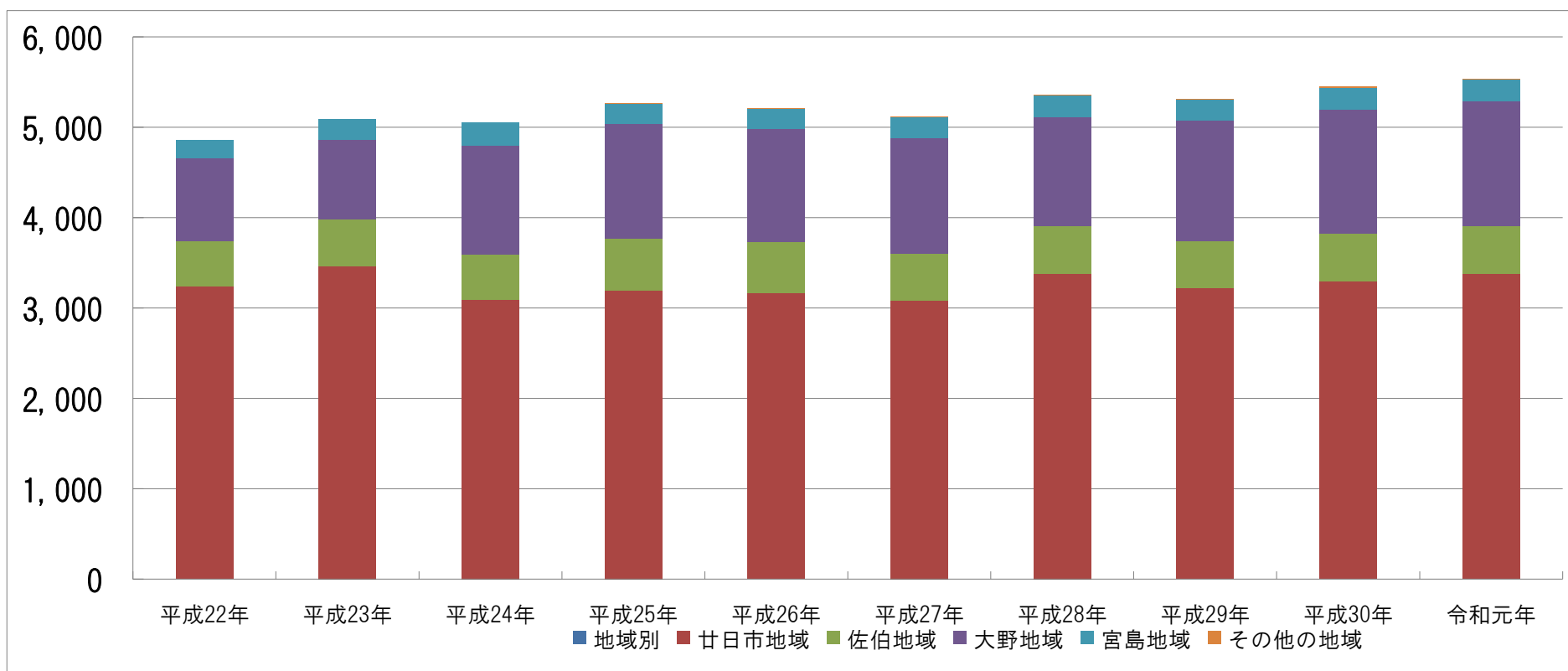
区 分 計			救 急 事 故 種 別													
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資等 機輸 材送	そ の 他
廿 日 市 消 防 署	出 場 件 数	2,200	9			156	24	12	331	4	7	1,251	397			9
	搬 送 人 員	1,968	1			143	24	11	295	4	5	1,088	397			
西 分 署	出 場 件 数	1,524	6			96	12	11	282	2	7	927	172			9
	搬 送 人 員	1,376				91	11	11	261	2	4	824	172			
佐 伯 消 防 署	出 場 件 数	526				35	16	3	98	3	1	299	68			3
	搬 送 人 員	489				38	14	3	88	2		276	68			
大 野 消 防 署	出 場 件 数	1,039	1		1	62	8	8	183	4		701	66			5
	搬 送 人 員	914	1		1	50	8	8	164			616	66			
宮 島 消 防 署	出 場 件 数	242	1		2	3	4		55		1	170	4			2
	搬 送 人 員	181	1		2	3	4		43		1	124	3			
計	出 場 件 数	5,531	17	0	3	352	64	34	949	13	16	3,348	707	0	0	28
	搬 送 人 員	4,928	3	0	3	325	61	33	851	8	10	2,928	706	0	0	0
吉 和 地 域	出 場 件 数	59				6	1	1	15			29	4	1		2
	搬 送 人 員	54				5	1	1	15			28	4			

※ 吉和地域は計に含まない

■過去10年間の救急出場件数

年 別 地域別	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
廿日市地域	3, 242	3, 460	3, 090	3, 190	3, 170	3, 084	3, 376	3, 226	3, 300	3, 373
佐伯地域	498	524	502	580	566	521	527	518	523	539
大野地域	920	878	1, 200	1, 266	1, 245	1, 273	1, 211	1, 329	1, 372	1, 371
宮島地域	201	228	257	224	221	231	239	236	245	241
その他の地域			2	3	7	4	6	7	11	7
計	4, 861	5, 090	5, 051	5, 263	5, 209	5, 113	5, 359	5, 316	5, 451	5, 531
吉和地域	65	53	63	60	65	66	65	66	52	59

※ 吉和地域は計に含まない
その他の地域：広島市・大竹市



■事故種別・収容地域別搬送人員（令和元年中）

事故種別 収容地域別	火 災	自 災 然 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 行 損 為	急 病	そ の 他				計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 等 輸 送	そ の 他	
廿 日 市 市	3		2	231	35	20	522	4	10	2,087	487			1	3,402
大 竹 市				16	3	2	74			112	31				238
広 島 市	佐 伯 区			35	4	2	90			307	18				456
	西 区			12	1	3	62	1		59	9				147
	中 区			20	12	6	72	2		291	77				480
	南 区			4	4		27	1		61	74				171
	東 区									1	1				2
	安 佐 南 区			1	1					1					3
	安 佐 北 区						1				1				2
	安 芸 区						1								1
ドクターヘリ			1	5	1		1								8
そ の 他				1			1			9	7				18
計	3	0	3	325	61	33	851	8	10	2,928	705	0	0	1	4,928

■転送回数別搬送人員（令和元年中）

事故種別 転送回数	火 災	自 災 然 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 行 損 為	急 病	そ の 他				計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 等 輸 送	そ の 他	
0 回	2		3	320	57	32	801	7	10	2,863	701			1	4,797
1 回	1			4	4	1	50	1		65	4				130
2 回	0			1											1
計	3	0	3	325	61	33	851	8	10	2,928	705	0	0	1	4,928

■事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員（令和元年中）

事故種別 年齢区分別 傷病程度別		火 災	自 然 害	水 難	交 通	労 働 害	運 動 技	一 般 傷	加 害	自 行 損 為	急 病	その他	計
年 齢 区 分	新 生 児							1			6	6	13
	乳 幼 児			1	6			65			190	26	288
	少 年				39		17	28			102	12	198
	成 人	1			210	55	15	158	6	8	851	185	1,489
	高 齢 者	2		2	70	6	1	599	2	2	1,779	477	2,940
計		3	0	3	325	61	33	851	8	10	2,928	706	4,928
傷 病 程 度	死 亡			1				1		2	55	3	62
	重 症			1	19	11		40			246	116	433
	中 等 症	2		1	105	25	15	392	2	6	1,403	524	2,475
	軽 症	1			201	25	18	418	6	2	1,224	63	1,958
	そ の 他												0

■年齢区分別・傷病程度別搬送人員（令和元年中）

	新 生 児	乳 幼 児	少 年	成 人	高 齢 者	計
死 亡				6	56	62
重 症	2	6	6	103	316	433
中 等 症	7	70	51	657	1,690	2,475
軽 症	4	212	141	723	878	1,958
そ の 他						0
計	13	288	198	1,489	2,940	4,928

■曜日別・月別救急出場件数（令和元年中）

事故種別 区分		火	災	自 災	然 害	水	難	交 通	労 災	働 害	運 競	動 技	一 負	般 傷	加 害	自 行	損 為	急 病	転 搬	院 送	医 搬	師 送	資 機 材	輸 送	そ の 他	計
曜 日 別	月	5						50	4	4	4	148	4	3	534	122			6						6	880
	火	2						55	16	2	2	110	1	2	425	115			3						3	731
	水	3						47	12	1	1	129	2		448	100			4						4	746
	木	2						53	8	4	4	101	1	4	470	104			2						2	749
	金	1						46	10	5	5	133	1	3	446	114			3						3	762
	土	2				2		55	12	7	7	150	3	1	516	97			2						2	847
	日	2				1		46	2	11	11	178	1	3	509	55			8						8	816
計		17		0		3		352	64	34	34	949	13	16	3,348	707		0	0						28	5,531
月 別	1月	2						32	7	1	1	67	2	2	331	75			1						1	520
	2月	3						23	5	5	5	63		3	287	62			3						3	454
	3月	1						32	6	5	5	82	2		294	82			1						1	505
	4月	3						45	4			79			262	56			2						2	451
	5月	2				1		17	9	3	3	81		3	275	49			1						1	441
	6月	1				1		29	2	6	6	79	1		245	48										412
	7月	2						20	8	4	4	77	2		267	60			1						1	441
	8月					1		30	5	1	1	83		2	335	58			4						4	519
	9月	0						18	4	1	1	91	2	1	242	65			4						4	428
	10月	3						38	5	4	4	80	1	3	237	36										407
	11月							41	5	4	4	75			275	51			3						3	454
	12月							27	4			92	3	2	298	65			6						6	497

■時間別救急出場件数（令和元年中）

事故種別 区分		火災	自災 然害	水難	交通	労災 働害	運競 動技	一負 般傷	加害	自行 損為	急病	転搬 院送	医搬 師送	資機材 等輸送	その他	計
時間別 内訳	0～2				4			24	1	2	190	4			2	227
	2～4				8			24	1		147	4			2	186
	4～6				9	2		34		1	161	3			2	212
	6～8	1			28	5		59	1	1	254	4			3	356
	8～10				40	12	3	116			375	92			3	641
	10～12	4			44	10	8	118		1	324	160			4	673
	12～14	3			44	12	7	119			322	148				655
	14～16	3		2	42	12	3	105		3	320	91			4	585
	16～18	2		1	51	6	5	126		3	313	107			3	617
	18～20	2			40	2	2	110	3	1	375	49			3	587
	20～22	2			27	1	6	61	5	2	278	27				409
	22～24	0			15	2		53	2	2	289	18			2	383
	計	17	0	3	352	64	34	949	13	16	3,348	707	0	0	28	5,531

■現場到着所要時間別出場件数（令和元年中）

現場到着 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	現場到着 最短所要時間 (分)	現場到着 最長所要時間 (分)	現場到着 平均所要時間 (分)
急病	28	186	2,310	804	20	3,348	0	35	8.0
交通	5	30	214	87	16	352	1	59	9.1
一般負傷	14	59	626	231	19	949	0	33	8.2
その他	20	228	511	111	12	882	0	35	6.8
計	67	503	3,661	1,233	67	5,531		平均	8.0

■収容所要時間別搬送人員（令和元年中）

収容所要時間 事故種別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上	計	収容最短 所要時間 (分)	収容最長 所要時間 (時間：分)	収容平均 所要時間 (分)
急病		25	327	2,137	439	2,928	13	159	45.0
交通		2	36	207	80	325	13	130	50.1
一般負傷	2	6	60	551	232	851	4	193	51.9
その他		82	259	432	51	824	13	212	35.4
計	2	115	682	3,327	802	4,928		平均	45.6

■応急手当普及啓発実施状況（令和元年中）

区 分	講 習 種 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	受講者数
廿 日 市 消 防 署	上級救命講習											1		1	45
	普通救命講習	1	7		1	4	7	8	2	5	1	1	1	38	886
	その他の講習	1			1	5	6	5	2	1	2			23	602
西 分 署	上級救命講習													0	
	普通救命講習		1				8	3	1	3	1	5	2	24	587
	その他の講習					1	2			1	2			6	172
佐 防 伯 消 防 署	上級救命講習													0	
	普通救命講習	1	1				1	2	3		3	1		12	162
	その他の講習		1	2		2	1	2			2			10	142
大 防 野 消 防 署	上級救命講習													0	
	普通救命講習				1			2	1	2	1	1	1	9	179
	その他の講習						3				3			6	247
宮 防 島 消 防 署	上級救命講習													0	
	普通救命講習					1		1		1				3	53
	その他の講習						2	1						3	60
計	上級救命講習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	45
	普通救命講習	2	9	0	2	5	16	16	7	11	6	8	4	86	1,867
	その他の講習	1	1	2	1	8	14	8	2	2	9	0	0	48	1,223
吉 和 地 域	上級救命講習														
	普通救命講習						1	1						2	55
	その他の講習														

※吉和地域は計に含まない

応急手当普及啓発実施要領（平成24年4月1日）

- 上級救命講習：普通救命講習に加えて、傷病者の管理法、副子固定法、熱傷の手当、搬送法を習得する講習（8時間）
- 普通救命講習
 - 普通救命講習（Ⅰ）：心肺蘇生法・AEDの使用法を主体とした、市民が受講する一般的な講習（3時間）
 - 普通救命講習（Ⅱ）：業務の内容、活動領域から、一定の頻度で心停止の対応をすることが期待される者に対する講習（4時間）
 - 普通救命講習（Ⅲ）：小児・乳児・新生児に対する応急手当を中心とした講習（3時間）
- その他の講習
 - 救命入門コース：胸骨圧迫とAEDの使用法を中心とした応急手当の導入講習（1時間30分）
 - その他講習：心肺蘇生法、止血法等基礎的な応急救護（1時間30分～3時間未満）

■過去3年間の救助出動状況

種 別 年 別	救 助 事 案									
	発 生 件 数	内 訳								
		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械	建 物	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他
平成29年	55	2	20	6		3	11			13
平成30年	44	1	15	4		1	4	1		18
令和元年	70		13	3		3	3			48

■救助出動状況（令和元年中）

種 別 地域別	救 助 出 動												
	出 動 件 数	内 訳									出 動 人 員	出 動 台 数	救 助 人 員
		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械	建 物	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他			
廿 日 市 地 域	35		7	1		1	3			23	312	86	24
佐 伯 地 域	8		4			1				3	97	28	14
大 野 地 域	11		2	1		1				7	114	35	10
宮 島 地 域	16			1						15	113	33	18
計	70		13	3		3	3			48	636	182	66
吉 和 地 域	2		2								24	8	2

※ 吉和地域は計に含まない

通信指令



高機能消防指令センター

119番受信件数	7,278件
(内 訳)	
固定電話	2,349件
I P 電話	1,558件
携帯電話	3,371件

※吉和地域は含まない

■119 電話受信状況（令和元年中）

（吉和地域を除く）

区分 月別		火災	救急	救助	他災害	重複	間違い	いたずら	問い合わせ	その他	小計	総計
1 月	固定	0	109	1	10	1	6	0	16	44	187	626
	I P	0	102	0	6	6	4	1	10	7	136	
	携帯	3	182	2	24	15	18	1	42	16	303	
2 月	固定	0	106	0	12	5	25	1	8	48	205	603
	I P	2	106	0	4	3	2	0	12	14	143	
	携帯	1	155	2	18	8	18	1	27	25	255	
3 月	固定	0	130	3	9	5	11	2	16	101	277	719
	I P	0	98	1	7	4	3	1	3	19	136	
	携帯	1	171	2	11	13	28	2	30	48	306	
4 月	固定	0	109	1	4	1	6	2	11	41	175	550
	I P	1	74	0	7	5	3	0	10	10	110	
	携帯	2	164	6	11	16	21	1	31	13	265	
5 月	固定	0	95	0	3	3	6	1	10	49	167	585
	I P	0	93	1	6	4	3	2	10	16	135	
	携帯	2	157	8	14	16	16	2	41	27	283	
6 月	固定	0	92	0	8	6	11	0	14	62	193	587
	I P	0	80	0	4	3	4	0	11	36	138	
	携帯	1	152	3	16	21	20	1	27	15	256	
7 月	固定	1	95	2	9	5	7	0	6	49	174	576
	I P	1	73	1	8	3	3	0	15	16	120	
	携帯	0	171	2	18	23	23	1	23	21	282	
8 月	固定	1	116	1	13	5	6	0	13	39	194	671
	I P	0	78	1	3	2	4	1	12	12	113	
	携帯	0	206	1	22	15	24	2	44	50	364	
9 月	固定	0	106	0	7	4	13	1	5	54	190	546
	I P	0	69	0	7	0	1	0	6	13	96	
	携帯	0	149	3	13	9	18	1	35	32	260	
10 月	固定	1	100	1	9	7	9	1	7	50	185	580
	I P	0	71	0	6	1	5	0	5	30	118	
	携帯	2	155	2	21	18	17	0	36	26	277	
11 月	固定	0	96	0	11	3	8	0	14	74	206	615
	I P	0	97	0	6	5	4	1	3	37	153	
	携帯	0	162	4	19	12	17	1	24	17	256	
12 月	固定	0	101	1	11	2	9	0	7	65	196	620
	I P	0	110	0	9	6	1	0	9	25	160	
	携帯	0	159	5	15	6	17	3	29	30	264	
総計	固定	3	1,255	10	106	47	117	8	127	676	2,349	7,278
	I P	4	1,051	4	73	42	37	6	106	235	1,558	
	携帯	12	1,983	40	202	172	237	16	389	320	3,371	

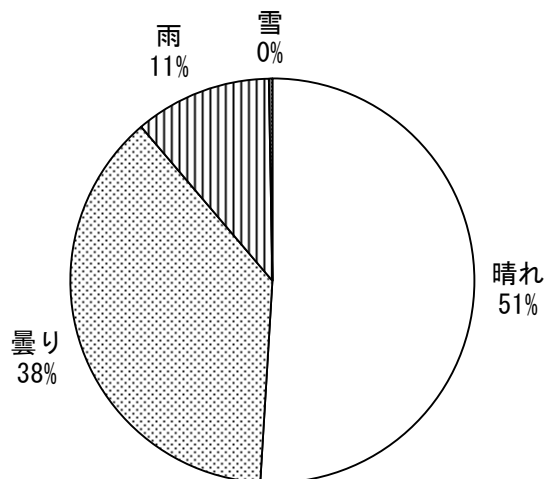
■ 気象情報発表状況

令和元年中

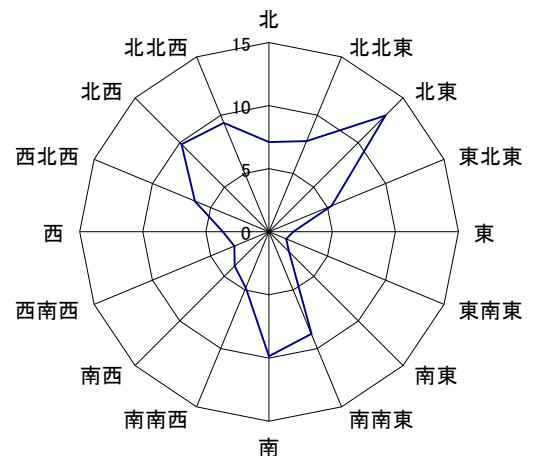
月 別 種 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
注 意 報	風 雪	1												1
	強 風	2	2	6	5	1	3	1	3	2	3	4	3	35
	波 浪	3	2	6	5	1	3	1	3	2	3	4	3	36
	高 潮		1	1		1		5	8	4	4			24
	大 雨						5	5	9	5	2			26
	洪 水						2	4	3	1				10
	大 雪	2												2
	雷	3	1	9	4	6	13	13	11	9	4	1	1	75
	乾 燥	7	7	11	7	5	8		1	3	5	5	4	63
	濃 霧		1	1	1		2					2	3	10
	霜			10	5									15
	なだれ	1												1
	低 温													
	着 雪	1												1
	津 波													
警 報	暴 風								1	1				2
	暴風雪													
	波 浪								1	1				2
	高 潮													
	大 雨						1	2	3					6
	洪 水						1	1	1					3
	大 雪	1												1
	津 波													
火災警報														
合 計		21	14	44	27	14	38	32	44	28	21	16	14	313

天候・風向の状況

天候（9時観測）



風向（%）



■月別気象状況

令和元年中

月 別 種 別		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	備 考
気 温 ℃	最 高	14.5	15.0	21.8	26.2	30.2	30.3	33.8	36.2	32.7	30.2	22.1	16.9	年間平均気温 16.7 ℃
	最 低	0.1	-0.7	1.3	2.8	7.6	15.2	20.4	19.3	15.3	10.6	3.8	1.8	
	平 均	6.2	7.3	10.0	14.0	19.5	22.5	25.7	27.7	25.8	19.9	13.2	8.4	
湿 度 %	最 高	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.4	99.9	年間平均湿度 70.2 %
	最 低	19.7	22.5	17.2	13.8	20.0	33.3	49.1	41.9	31.3	28.6	30.0	32.5	
	平 均	65.5	64.1	65.5	63.8	57.5	74.1	85.6	80.4	73.7	72.1	67.9	72.3	年間平均実効湿度 69.9 %
	実効湿度平均	64.6	64.6	65.9	61.7	59.0	71.7	85.5	79.5	74.3	72.2	68.2	71.2	
風 速 m/s	瞬間最大	16.8	14.7	19.6	18.1	15.9	13.0	24.4	21.6	35.8	23.0	17.2	17.7	年間平均風速 2.1 m/s
	平 均	2.0	2.0	2.4	2.2	2.1	2.1	2.0	2.5	2.3	2.3	2.0	1.7	
雨 量 mm	最大雨量（日）	10.5	30.5	39.0	42.0	34.5	92.5	60.5	74.0	25.5	57.0	1.5	16.5	年間累計雨量 1442.5 mm
	月累計	21.0	70.5	111.0	115.0	55.5	188.0	308.0	313.0	71.0	99.0	1.5	89.0	
	降雨観測日数	5.0	6.0	11.0	6.0	4.0	8.0	12.0	13.0	5.0	9.0	1.0	10.0	年間降雨観測日数 90 日

■多言語サービス利用実績(令和元年中)

言語 月別	英 語	中 国 語	韓 国 語	ポ ル ト ガ ル 語	ス ペ イ ン 語	タ イ 語	ベ ト ナ ム 語	イ ン ド ネ シ ア 語	タ ガ ロ グ 語	ネ パ ー ル 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	イ タ リ ア 語	ロ シ ア 語	マ レ ー 語	ミ ヤ ン マ ー 語	ク メ ー ル 語	モ ン ゴ ル 語	計
1月																			0
2月																			0
3月																			0
4月												1							1
5月																			0
6月	1																		1
7月																			0
8月		1																	1
9月																			0
10月	1																		1
11月	2																		2
12月					1														1
計	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7

【備考】＊1事案に、複数回 多言語サービスを利用した場合、1回でカウントした。
ただし、複数言語を利用した場合は、言語ごとにカウントしている。

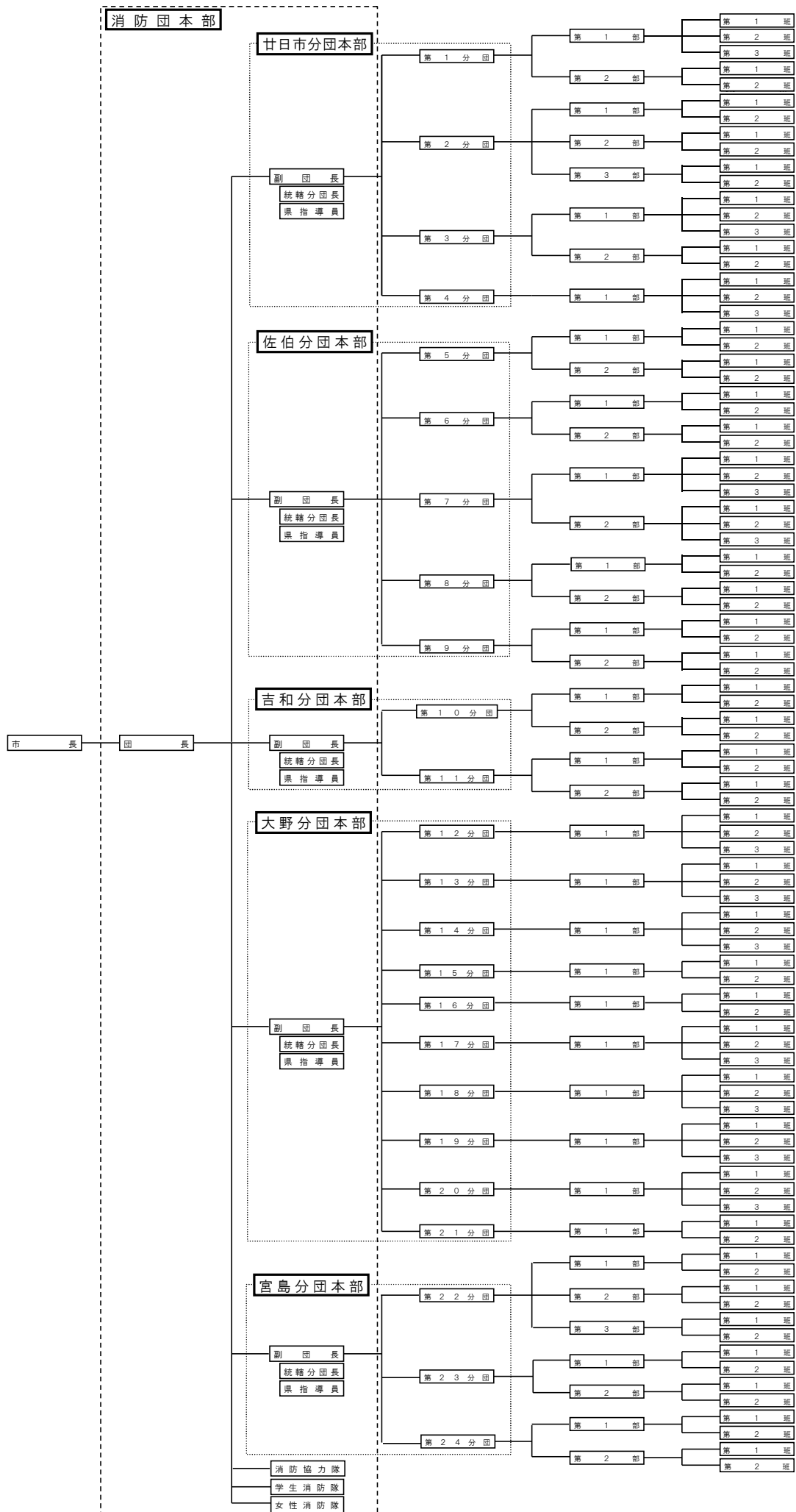
消 防 団



令和2年消防出初式における吉和分団の一斉放水訓練の様子

消 防 団 本 部 数	1 本 部
分 団 本 部 数	5 分 団 本 部
分 団 数	2 4 分 団
団 員 数	6 1 2 人
車 両 台 数	5 3 台

■消防団の組織図



■歴代消防団長

	氏 名	就 任 年 月 日	退 職 年 月 日	備 考
初	勝 谷 弁 二	昭和32年 2月10日	昭和32年 6月 1日	
2	有 田 武 男	昭和32年 6月 1日	昭和34年 4月15日	
3	明 石 康 造	昭和34年 5月17日	昭和43年 5月25日	
4	谷 峰 徹	昭和43年 6月15日	昭和49年 8月31日	
5	野 田 洋 一 郎	昭和49年 9月 1日	平成 9年 8月 3日	
6	谷 峰 正 宣	平成 9年10月 1日	平成16年 3月31日	
7	佐 神 英 司	平成16年 4月 1日	平成17年 3月31日	
8	倉 田 征 士	平成17年 4月 1日	平成19年 3月31日	
9	梶 本 正 五	平成19年 4月 1日	平成24年 3月31日	
10	伊 藤 博	平成24年 4月 1日	平成31年3月31日	
11	山 松 和 男	平成31年 4月 1日	現 在 に 至 る	

■消防団員の報酬

階 級	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
年額（円）	103,500	75,000	49,000	41,500	33,500	31,500	26,000

※団員のうち機能別消防団員 10,000 円

■消防団員の諸手当

区 分	出動手当	訓練手当	警戒手当	賄 手 当	技術手当		船 賃
					ポンプ 自動車	小型動力 ポンプ付 積載車	
金額(円)	3,000	2,800	2,800	1,000	200	200	
単 位	1 回	1 回	1 回	1 食	1 回		1 回
摘 要	4 時間を超える場合は 4 時間ごとに同金額を支給	市外の場合は 倍額支給	4 時間を超える場合は 4 時間ごとに同金額を支給		小型動力ポンプ及び積 載車は各 100 円とする		職員の旅費 に関する条 例第 13 条に 定める船賃 の額

■消防団員の定員と所属別団員数

階級・種別		計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
所 属									
定 員		732							
実 員		612	1	5	34	24	39	88	426
団本部	本部員	16	1	5	10				
	消防協力隊	34							34
	学生消防隊	16							16
	女性消防隊	※(10)							※(10)
	計	66	1	5	10				50
廿日市分団	第 1 分 団	50			1	1	2	5	41
	第 2 分 団	55			1	1	3	6	44
	第 3 分 団	48			1	1	2	5	39
	第 4 分 団	28			1	1	1	3	22
	計	181			4	4	8	19	146
佐伯分団	第 5 分 団	16			1	1	2	4	8
	第 6 分 団	19			1	1	2	4	11
	第 7 分 団	26			1	1	2	6	16
	第 8 分 団	12			1	1	2	3	5
	第 9 分 団	11			1	1	2	4	3
	計	84			5	5	10	21	43
吉和分団	第 10 分 団	24			1	1	2	4	16
	第 11 分 団	23			1	1	2	4	15
	計	47			2	2	4	8	31
大野分団	第 12 分 団	14			1	1	1	2	9
	第 13 分 団	17			1	1	1	3	11
	第 14 分 団	16			1	1	1	3	10
	第 15 分 団	16			1	1	1	2	11
	第 16 分 団	13			1	1	1	2	8
	第 17 分 団	18			1	1	1	3	12
	第 18 分 団	14			1	1	1	3	8
	第 19 分 団	15			1	1	1	3	9
	第 20 分 団	15			1	1	1	3	9
	第 21 分 団	9			1	1	1	2	4
	計	147			10	10	10	26	91
宮島分団	第 22 分 団	35			1	1	3	6	24
	第 23 分 団	34			1	1	2	4	26
	第 24 分 団	18			1	1	2	4	10
	計	87			3	3	7	14	60

※女性消防隊は分団所属団員が兼務しているため団本部人数には計上しない。

■消防団員の勤務年数

階 級 勤務年数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
1 年 未 満							35	35
1 年 以 上 5 年 未 満						1	114	115
5 年 以 上 10 年 未 満			1		2	6	80	89
10 年 以 上 15 年 未 満			1		3	19	57	80
15 年 以 上 20 年 未 満				2	3	24	57	86
20 年 以 上 25 年 未 満		1	4	4	10	15	21	55
25 年 以 上 30 年 未 満			10	7	7	14	15	53
30 年 以 上 35 年 未 満			10	5	12	7	16	50
35 年 以 上	1	4	8	6	2	2	26	49
人 員	1	5	34	24	39	88	421	612
平 均	45.0	34.8	30.3	29.0	24.7	19.0	17.9	28.7

■消防団員の年齢

階 級 年 齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
20 歳 未 満							4	4
20 歳 以 上 25 歳 未 満							30	30
25 歳 以 上 30 歳 未 満							28	28
30 歳 以 上 35 歳 未 満						2	34	36
35 歳 以 上 40 歳 未 満					3	6	70	79
40 歳 以 上 45 歳 未 満				1	3	14	60	78
45 歳 以 上 50 歳 未 満				1	8	21	73	103
50 歳 以 上 55 歳 未 満			8	7	13	24	48	100
55 歳 以 上	1	5	26	15	12	21	74	154
人 員	1	5	34	24	39	88	421	612
平 均	68.0	64.6	58.8	56.6	51.8	49.6	43.5	46.5

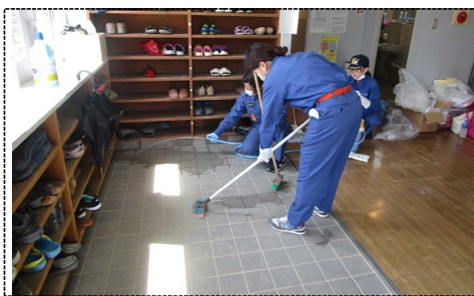
■ 火災出動状況（令和元年中）

種 別 署 別	火 災 出 動								
	出 動 件 数	内 訳					出 動 人 員	出 動 台 数	放 水 台 数
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他			
廿日市分団									
佐伯分団	5	4				1	186	27	8
吉和分団	1	1					24	5	3
大野分団	2		2				181	15	4
宮島分団									
計	8	5	2			1	391	47	15

■ その他の出動状況（令和元年中）

種 別 署 別	そ の 他 の 出 動								
	出 動 件 数	内 訳						出 動 人 員	出 動 台 数
		風 水 害 等	特 別 警 戒	捜 索	誤 報 誤 認	応 援 出 動	そ の 他		
廿日市分団	21		21					389	60
佐伯分団	5		4				1	47	31
吉和分団	6		6					74	24
大野分団	13		13					346	39
宮島分団	6		6					158	27
計	51		50				1	1,014	181

■機能別団員制度について



廿日市市は瀬戸内海から西中国山地へと広がる雄大な自然に恵まれています。また、沿岸部・内陸部・山間部・島しょ部から構成され多様な地域資源を有しています。

当市消防団は旧市町村単位に置かれる5つの地域分団から構成されており、『消防団は団結が一番！』をモットーに地域の安心・安全のために活動しています。

機能別団員発足の経緯

当市消防団は団員数の減少、平均年齢の上昇、市外勤務者やサラリーマン団員増加による、昼間の災害への対応が課題となっています。

平成28年2月、これらの課題を克服するため、活動内容を特定し基本団員の活動を補完する『機能別団員制度』導入を組織決定しました。その後、条例等の改正、物品等購入予算の編成を経て平成29年4月、機能別団員が所属する3つの隊を発足しました。



各隊の概要

- ・消防協力隊 消防団員や消防職員のOBから構成され、豊富な知識や経験を生かして基本団員の活動の後方支援や住民への啓発活動などを行います。
- ・女性消防隊 女性のみで構成され、男性中心であった消防団活動に多様な視点での活動を取り入れ、入団促進活動や幼児への啓発、救急講習の支援などを行います。
- ・学生消防隊 市内在住または市内に通学する大学生等から構成され、大学生の「専攻学科能力」や「行動力」を生かした啓発活動や広報、大規模災害時の後方支援などを行います。



今後の活動について

このたび、機能別団員制度を導入したことにより幅広い層の人材が消防団活動に参加するようになったことは、消防団にとっても地域防災にとっても大きな意義のあることです。発足から間が無いため活動実績はまだ少ないですが、今後は各隊の隊員が地域防災について真剣に考え、主体的かつ継続的に活動を展開し、地域防災力の向上に繋がられるよう、消防団全体が一丸となって取り組んでいきます。

○消防団の概要（令和2年4月1日現在）

団長 山 松 和 男 条例定数 732人（内、機能別団員70人）

実 員 数 612人（内、機能別団員50人）

（男性団員 582人・女性団員 30人）

■消防団車庫の現況【待機所を備えた車庫 41 施設・車庫 1 施設・手引きポンプ格納庫 4 施設】

廿日市分団【待機所を備えた車庫 17 施設】

車 の 名 称	所在地	構造	敷地面積	建築 面積	延べ 面積	備考
第 1 分団第 1 部 1・2 班(大東)	桜尾本町 2-26	鉄骨造 2 階建	452.00 m ²	79.12 m ²	79.12 m ²	S 56. 2 建築 市有地
第 1 分団第 1 部 3 班(佐方)	佐方 1029-1	鉄骨造 2 階建	258.39 m ²	29.61 m ²	51.70 m ²	H 10. 3 建築 市有地
第 1 分団第 2 部 1・2 班(榎之窪)	下平良 1-8-14	鉄骨造 平屋建	下平良集会所地内	50.00 m ²	50.00 m ²	H 元. 3 建築 市有地
第 2 分団第 1 部 1 班(森宗)	原下が原 608-1	鉄骨造 平屋建	274.90 m ²	52.65 m ²	52.65 m ²	H 5. 3 建築 借 地
第 2 分団第 1 部 2 班(川末)	原川末 1658	鉄骨造 平屋建	川末集会所地内	50.30 m ²	50.30 m ²	H 2. 3 建築 市有地
第 2 分団第 2 部 1 班(長野)	原長野 164-1	鉄骨造 平屋建	144.86 m ²	43.47 m ²	43.47 m ²	S 62. 3 建築 借 地
第 2 分団第 2 部 2 班(後畑)	原西後畑 2378-2	木 造 平屋建	後畑集会所地内	50.62 m ²	50.62 m ²	H 9. 3 建築 市有地
第 2 分団第 3 部 1 班(速谷)	上平良 1029-2	鉄骨造 平屋建	上平良集会所地内	43.50 m ²	43.50 m ²	S 63. 7 建築 市有地
第 2 分団第 3 部 2 班(郡塚)	上平良 1342-6	鉄骨造 2 階建	66.00 m ²	28.47 m ²	53.85 m ²	H 3. 3 建築 市有地
第 3 分団第 1 部 1 班(砂原)	宮内 1554-2	鉄骨造 2 階建	宮内市民センター 地内	29.31 m ²	54.69 m ²	H 4. 3 建築 市有地
第 3 分団第 1 部 2 班(畑口)	宮内 2246-3	鉄骨造 平屋建	571.12 m ²	54.00 m ²	54.00 m ²	H 2. 6 建築 借 地
第 3 分団第 1 部 3 班(明石)	宮内 2856	鉄骨造 2 階建	明石集会所地内	26.84 m ²	49.22 m ²	H 元. 4 建築 市有地
第 3 分団第 2 部 1 班(宮園)	宮園 3-1-4	鉄骨造 2 階建	152.10 m ²	29.31 m ²	54.69 m ²	H 4.11 建築 市有地
第 3 分団第 2 部 2 班(四季が丘)	四季が丘 5-13-1	鉄骨造 2 階建	215.62 m ²	31.62 m ²	55.86 m ²	H 7.11 建築 市有地
第 4 分団第 1 部 1 班(地御前)	地御前 3-801-3	鉄骨造 2 階建	防火水槽地内	26.84 m ²	47.08 m ²	S 63. 3 建築 市有地
第 4 分団第 1 部 2 班(阿品)	阿品 2-2437-8	鉄骨造 2 階建	71.61 m ²	29.61 m ²	51.70 m ²	H 15. 2 建築 市有地
第 4 分団第 1 部 3 班(阿品台)	阿品台北 3113-1	鉄骨造 平屋建	408.00 m ²	54.00 m ²	54.00 m ²	S 58.11 建築 市有地

佐伯分団【待機所を備えた車庫6施設】

車 の 名 称	庫 称	所在地	構造	敷地面積	建築 面積	延べ 面積	備考
第5分団 (玖島)		玖島 4348-1	木造モルタル 2階建	115.00 m ²	41.16 m ²	81.15 m ²	H 5. 3 建築 市有地
第6分団 (友和)		友田 407-1	鉄骨造 2階建	友和市民センター 地内	48.00 m ²	96.00 m ²	S 61. 3 建築 市有地
第7分団 第1部・第2部 (津田)		津田 1989	鉄筋コンクリート 2階建	佐伯支所地内	121.67 m ²	197.60 m ²	S 58. 7 建築 市有地
第8分団 (浅原)		浅原 2657-4	木造モルタル 2階建	241.02 m ²	39.69 m ²	79.38 m ²	H 4. 3 建築 市有地
第9分団 第1部(栗栖)		栗栖 439-2	木造モルタル 2階建	61.88 m ²	29.16 m ²	58.32 m ²	H 3. 3 建築 市有地
第9分団 第2部(所山)		虫所山 102-1	木造モルタル 平屋建	271.39 m ²	31.59 m ²	31.59 m ²	S 57. 3 建築 市有地

吉和分団【待機所を備えた車庫3施設・車庫1施設】

車 の 名 称	庫 称	所在地	構造	敷地面積	建築 面積	延べ 面積	備考
第10分団 第1部(市垣内)		吉和 3425-1	鉄骨スレート 平屋建	吉和支所地内	59.00 m ²	59.00 m ²	H 2. 5 建築 市有地
第10分団 第2部(中津谷)		吉和 738-11	鉄骨スレート 2階建	吉和第二集会所地内	58.10 m ²	97.11 m ²	H 18. 3 建築 市有地
第11分団 第1部(市垣内)		吉和 3425-1	鉄骨スレート 2階建	吉和支所地内	58.10 m ²	97.11 m ²	H 22. 1 建築 市有地
第11分団 第2部(石原)		吉和 2405-1	鉄骨スレート 2階建	476.34 m ²	58.10 m ²	97.11 m ²	H 20. 3 建築 市有地

大野分団【待機所を備えた車庫１２施設】

車 の 名 称	庫 称	所在地	構造	敷地面積	建築 面積	延べ 面積	備考
第１２分団第１部 (宮島口)		宮島口 1-13-5	木造モルタル ２階建	204.46 m ²	34.11 m ²	68.22 m ²	S 51. 3 建築 市有地
第１３分団 第１部１班(深江)		深江 3-3-7	木造モルタル ２階建	170.63 m ²	34.02 m ²	68.04 m ²	S 60. 9 建築 市有地
第１３分団 第１部２班(更地)		大野 1912-3	コンクリート ブロック造	新幹線高架下 129.48 m ²	69.62 m ²	69.62 m ²	S 56. 3 建築 借地
第１３分団 第１部３班(中山)		大野 212-6	木造モルタル ２階建	338.08 m ²	34.02 m ²	68.04 m ²	S 57. 3 建築 市有地
第１４分団第１部 (別府)		大野 831-1	木造モルタル ２階建	115.08 m ²	34.02 m ²	68.04 m ²	S 56.11 建築 市有地
第１５分団第１部 (土井)		大野 1503-4	コンクリート ブロック造	新幹線高架下 119.29 m ²	66.82 m ²	66.82 m ²	S 52.12 建築 借地
第１６分団第１部 (滝の下)		大野 4443-5	コンクリート ブロック造	新幹線高架下 130.01 m ²	66.58 m ²	66.58 m ²	S 52. 3 建築 借地
第１７分団第１部 (物見)		物見西 3-1-39	鉄骨造 ２階建	252.94 m ²	45.36 m ²	90.72 m ²	H 14. 2 建築 市有地
第１８分団第１部 (原)		大野原 2-12-18	木造モルタル ２階建	251.13 m ²	34.02 m ²	68.04 m ²	S 53. 1 建築 市有地
第１９分団第１部 (塩屋)		塩屋 2-2-33	木造モルタル ２階建	90.00 m ²	34.11 m ²	68.22 m ²	S 48.12 建築 市有地
第２０分団第１部 (丸石)		丸石 1-1-5	木造モルタル ２階建	258.99 m ²	34.02 m ²	68.04 m ²	S 60. 3 建築 市有地
第２１分団第１部 (鳴川)		大野 1664-9	木造モルタル ２階建	243.946 m ²	34.02 m ²	68.04 m ²	S 53.12 建築 市有地

宮島分団【待機所を備えた車庫３施設】

車 の 名 称	庫 称	所在地	構造	敷地面積	建築 面積	延べ 面積	備考
第２２分団 (東)		宮島町 600	鉄筋コン クリート	宮島市民セン タ一敷地内	60.52 m ²	60.52 m ²	S 49. 6 建築 市有地
第２３分団 (西)		宮島町 141	鉄筋コン クリート	中西集会所敷 地内	56.70 m ²	56.70 m ²	S 48. 6 建築 市有地
第２４分団 (杉之浦)		宮島町 990-2	鉄筋コン クリート	杉之浦職員住 宅敷地内	87.00 m ²	87.00 m ²	H 7. 9 建築 市有地

大野分団【手引きポンプ格納庫 4 施設】

機 の 名 称	所在地	構造	敷地面積	建築 面積	延べ 面積	備考
第 1 4 分団第 1 部 1 班格納庫（早時）	大野 3262-2	鉄筋コンクリ ート一部鉄骨	早時集会所敷地内	27.99 m ²	27.99 m ²	H 元. 3 建築 市有地
第 1 7 分団第 1 部 2 班格納庫（浜）	上の浜 1-11	木造		7.06 m ²	7.06 m ²	S 56. 7 建築 市有地
第 1 8 分団第 1 部 1 班格納庫（梅原）	梅原 2-6280 番 12	鉄筋コンクリ ート	83.19 m ²	26.00 m ²	26.00 m ²	H 8. 3 建築 市有地
第 1 9 分団第 1 部 1 班格納庫（沖塩屋）	沖塩屋 1-8-14	木造	108.30 m ²	12.42 m ²	12.42 m ²	S 46. 3 建築 市有地

■消防団車両・ポンプ配置状況【ポンプ車5台・積載車45台・その他車両3台・手引きポンプ5台】

団分団【防災広報車1台・手引きポンプ1台】

所属別	種 別	車種（機種）	車 名	整備 年度	ポンプ		乗車 定員
					製作所	級 別	
団	本 部	消防団防災学習災害活動車	トヨタ	H 2 7			6
		小型動力ポンプ(台車)		H 2 7	シバウラ	D-1	

廿日市分団【ポンプ車1台・積載車16台】

所属別	種 別	車種（機種）	車 名	整備 年度	ポンプ		乗車 定員
					製作所	級 別	
第 1 分団	第 1 部 1・2 班	消防団多機能型車両	いすゞ	H 2 5			6
		小型動力ポンプ		H 2 5	トーハツ	B-2	
	第 1 部 3 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 1 5			10
		小型動力ポンプ		H 3 0	トーハツ	B-2	
	第 2 部 1・2 班	消防ポンプ自動車	トヨタ	H 1 5	キンバイ商事広島	A-2	8
第 2 分団	第 1 部 1 班	小型動力ポンプ積載車	日 産	H 1 1			10
		小型動力ポンプ		H 1 9	トーハツ	B-3	
	第 1 部 2 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 1 2			10
		小型動力ポンプ		H 1 5	シバウラ	B-3	
	第 2 部 1 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 1 8			10
		小型動力ポンプ		H 1 8	シバウラ	B-3	
	第 2 部 2 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	R 1			10
		小型動力ポンプ		R 1	シバウラ	B-2	
	第 3 部 1 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 1 9			10
		小型動力ポンプ		H 1 9	トーハツ	B-3	
	第 3 部 2 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 1 6			10
		小型動力ポンプ		H 1 6	トーハツ	B-3	
第 3 分団	第 1 部 1 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 1 5			10
		小型動力ポンプ		H 1 5	富士ロビン	B-3	
	第 1 部 2 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 1 7			10
		小型動力ポンプ		H 1 7	富士ロビン	B-3	
	第 1 部 3 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 1 8			10
		小型動力ポンプ		H 1 8	シバウラ	B-3	
	第 2 部 1 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 2 2			10
		小型動力ポンプ		H 2 2	トーハツ	B-3	
	第 2 部 2 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 2 5			10
		小型動力ポンプ		H 2 5	トーハツ	B-3	
第 4 分団	第 1 部 1 班	小型動力ポンプ積載車	日 産	H 1 1			10
		小型動力ポンプ		H 1 9	トーハツ	B-3	
	第 1 部 2 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 1 9			10
		小型動力ポンプ		H 1 9	トーハツ	B-3	
	第 1 部 3 班	小型動力ポンプ積載車	日 産	H 2 6			10
		小型動力ポンプ		H 2 6	シバウラ	B-3	

佐伯分団【ポンプ車1台・積載車6台・指揮車1台】

種 別 所属別		車種（機種）	車名	整備 年度	ポンプ		乗車 定員
					製作所	級別	
		指 揮 車	トヨタ	H 1 3			8
第 5 分 団	第 1 部 1・2 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	R 1			10
	第 2 部 1・2 班	小型動力ポンプ		R 1	シバウラ	B-2	
第 6 分 団	第 1 部 1・2 班	小型動力ポンプ積載車	日 産	H 2 6			10
	第 2 部 1・2 班	小型動力ポンプ		H 2 6	シバウラ	B-2	
第 7 分 団	第 1 部 1・2・3 班	消防ポンプ自動車	日 野	H 2 9	モ リ タ	A-2	6
	第 2 部 1・2・3 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 2 1			10
		小型動力ポンプ		H 2 1	シバウラ	B-2	
第 8 分 団	第 1 部 1・2 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 2 3			10
	第 2 部 1・2 班	小型動力ポンプ		H 2 3	ラビット	B-2	
第 9 分 団	第 1 部 1・2 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 1 8			10
		小型動力ポンプ		H 1 8	シバウラ	B-2	
	第 2 部 1・2 班	軽四輪小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	H 2 6			4
		小型動力ポンプ		H 2 6	シバウラ	B-2	

吉和分団【ポンプ車1台・積載車6台・指揮車1台】

種 別 所属別		車種（機種）	車名	整備 年度	ポンプ		乗車 定員
					製作所	級別	
		指 揮 車	マツダ	H 7			5
第 1 0 分 団	第 1 部 1・2 班	消防ポンプ自動車	日 野	H 1 9	モ リ タ	A-2	8
	第 2 部 1 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 2 1			6
		小型動力ポンプ		H 2 1	シバウラ	B-3	
	第 2 部 2 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 1 6			6
		小型動力ポンプ		H 1 6	トーハツ	B-3	
第 1 1 分 団	第 1 部 1 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 1 7			6
		小型動力ポンプ		H 1 7	ラビット	B-3	
	第 1 部 2 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 1 5			6
		小型動力ポンプ		H 1 5	トーハツ	B-3	
	第 2 部 1 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 2 0			6
		小型動力ポンプ		H 2 0	ラビット	B-3	
	第 2 部 2 班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H 2 0			6
		小型動力ポンプ		H 2 0	ラビット	B-3	

大野分団【ポンプ車1台・積載車11台・手引きポンプ4台】

種 別 所属別		車種（機種）	車名	整備 年度	ポンプ		乗車 定員
					製作所	級別	
第12分団	第1部1・2・3班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H25			10
		小型動力ポンプ		H25	トーハツ	B-2	
第13分団	第1部1班	消防ポンプ自動車	日野	H28	吉谷機械	A-2	8
	第1部2班	小型動力ポンプ積載車	日産	H16			10
		小型動力ポンプ		H16	トーハツ	B-3	
	第1部3班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H24			10
		小型動力ポンプ		H24	トーハツ	B-2	
第14分団	第1部1・2・3班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H25			10
		小型動力ポンプ		H25	トーハツ	B-2	
	第1部1班（早時）	小型動力ポンプ（台車）		H26	トーハツ	D-1	
第15分団	第1部1・2班	小型動力ポンプ積載車	日産	H13			10
		小型動力ポンプ		H13	富士ロビン	B-3	
第16分団	第1部1・2班	小型動力ポンプ積載車	日産	H12			10
		小型動力ポンプ		H12	富士ロビン	B-3	
第17分団	第1部1・2・3班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H24			10
		小型動力ポンプ		H24	トーハツ	B-2	
	第1部2班（浜）	小型動力ポンプ（台車）		H2	富士ロビン	B-3	
第18分団	第1部1・2・3班	小型動力ポンプ積載車	日産	H17			10
		小型動力ポンプ		H17	シバウラ	B-3	
	第1部1班（梅原）	小型動力ポンプ（台車）		H26	トーハツ	D-1	
第19分団	第1部1・2・3班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H30			10
		小型動力ポンプ		H30	トーハツ	B-2	
	第1部1班（沖塩屋）	小型動力ポンプ（台車）		H6	富士ロビン	B-3	
第20分団	第1部1・2・3班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H25			10
		小型動力ポンプ		H25	トーハツ	B-2	
第21分団	第1部1・2班	小型動力ポンプ積載車	日産	H14			10
		小型動力ポンプ		H14	富士ロビン	B-3	

宮島分団【ポンプ車1台・積載車6台】

種 別 所属別		車種（機種）	車名	整備 年度	ポンプ		乗車 定員
					製作所	級別	
第22分団	第1部1・2班	救助資機材搭載型 消防ポンプ自動車	いすゞ	H26	モリタ	A-2	6
	第2部1・2班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	R1			10
		小型動力ポンプ		R1	シバウラ	B-2	
	第3部1・2班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H30			10
		小型動力ポンプ		H29	シバウラ	B-2	
第23分団	第1部1・2班	救助資機材搭載型 小型動力ポンプ積載車	日産	H30			6
		小型動力ポンプ		H30	トーハツ	B-2	
	第2部1・2班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H11			10
		小型動力ポンプ		H11	富士ロビン	B-2	
第24分団	第1部1・2班	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H29			10
		小型動力ポンプ		H29	シバウラ	B-2	
	第2部1・2班	小型動力ポンプ積載車	日産	H12			10
		小型動力ポンプ		H12	富士ロビン	B-2	

「その火事を
防ぐあなたに
金メダル」

2020年度 全国統一防火標語

令和2年9月

廿日市市消防本部

〒738-0033 広島県廿日市市串戸一丁目9番33号

電話 (0829) 32-8111

FAX (0829) 32-4119